

公益財団法人長野県産業振興機構

令和6年度事業報告

令和7年5月

目 次

法人運営	1
I 理事会の開催	1
II 評議員会の開催	2
III 内部統制に関する基本方針に基づく実施状況（令和6年度）について	3
事業内容	4
第1 企画連携事業	4
I イノベーション創出プロジェクトの推進	4
II 県内産業支援機関との連携に基づく支援体制の構築	5
III 国際的産学官連携の推進	6
IV 地域課題の解決に向けた産業界の取組促進	6
V 自動車産業におけるサプライヤーの事業転換推進	7
VI 企業に役立つ支援情報の発信	8
VII EV分解・部品調査事業	9
第2 新産業創出支援事業	9
I 次世代産業への支援	9
II グリーンイノベーションの推進	14
III 信州ITバレー構想の推進	16
第3 経営支援事業	20
I 相談支援	20
II 新産業創出・経営革新等支援	21
III マーケティング支援	22
IV 企業再生支援	33
V 事業承継・引継ぎ支援	34
第4 地域センター事業	35
I 長野センター	35
II 上田センター	39
III 松本センター	44
IV 諏訪センター	48
V 伊那センター	53
事業報告の附属明細書	58

法人運営

I 理事会の開催

開催期日	場所等	議決事項等
令和6年 4月17日	書面表決	理事会 ・ 評議員候補者の決定について ・ 理事候補者の決定について ・ 第1回評議員会の開催について
令和6年 6月4日	長野市	理事会（決算） ・ 令和5年度事業報告の承認について ・ 令和5年度収支決算の承認について ・ 資産運用規則の一部改正について ・ 評議員候補者の決定について ・ 理事候補者の決定について ・ 監事候補者の決定について ・ 第2回評議員会（定時評議員会）の開催について ・ 理事の利益相反取引等について【報告事項】 ・ 令和6年3月以降の職務の執行状況について【報告事項】 ・ 第1回理事会の結果について【報告事項】
令和6年 6月24日	書面表決	理事会 ・ 理事長（代表理事）の選定について ・ 副理事長の選定について ・ 専務理事（代表理事）の選定について ・ 常務理事の選定について ・ 監事候補者の決定について ・ 第3回評議員会の開催について
令和6年 8月21日	書面表決	理事会 ・ 令和6年度収支補正予算の承認について ・ 令和6年度資金調達及び設備投資の見込みの変更承認について ・ 理事の利益相反取引の承認について ・ 令和6年度事業計画の一部変更に係る専決処分承認について ・ 令和6年度収支補正予算に係る専決処分承認について
令和6年 10月31日	長野市	理事会（臨時） ・ 評議員候補者の決定について ・ 第4回評議員会の開催について ・ 満期償還となった有価証券等の再運用について【報告事項】 ・ 令和6年度事業の進捗状況について【報告事項】 ・ 職務の執行状況（令和6年6月以降）について【報告事項】 ・ 第3回及び第4回理事会の結果について【報告事項】

開催期日	場所等	議決事項等
令和7年 3月17日	長野市	理事会（予算） <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度事業計画の承認について ・令和7年度収支予算の承認について ・令和7年度資金調達及び設備投資の見込みの承認について ・常勤理事の報酬の額の決定について ・理事候補者の決定について ・第5回評議員会の開催について ・令和7年度に満期償還となる有価証券の再運用について【報告事項】 ・理事の利益相反取引の結果について【報告事項】 ・職務の執行状況（令和6年11月以降）について【報告事項】
令和7年 3月31日	書面表決	理事会 <ul style="list-style-type: none"> ・常務理事の選定について ・常勤理事の報酬の額の決定について ・理事の利益相反取引の承認について

II 評議員会の開催

開催期日	場所等	議決事項等
令和6年 4月26日	書面表決	評議員会 <ul style="list-style-type: none"> ・評議員の選任について ・理事の選任について
令和6年 6月24日	長野市	定時評議員会 <ul style="list-style-type: none"> ・評議員の選任について ・理事の選任について ・監事の選任について ・令和5年度事業報告について【報告事項】 ・令和5年度貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及びキャッシュ・フロー計算書について【報告事項】 ・令和6年度事業計画及び収支予算について【報告事項】 ・基本財産の運用に係る検討状況について【報告事項】 ・資産運用規則の一部改正について【報告事項】 ・第1回評議員会の結果について【報告事項】
令和6年 7月5日	書面表決	評議員会 <ul style="list-style-type: none"> ・監事の選任について
令和6年 11月14日	書面表決	評議員会 <ul style="list-style-type: none"> ・評議員の選任について
令和7年 3月27日	書面表決	評議員会 <ul style="list-style-type: none"> ・理事の選任について

Ⅲ 内部統制に関する基本方針に基づく実施状況（令和6年度）について

公平・公正かつ効率的な業務遂行のため、内部統制に関する基本方針（令和4年11月2日制定）に基づき次のとおり実施した。

1 コンプライアンス会議の開催状況

(1) 第1回（令和6年9月24日）

- パワーハラスメントの防止について
- 秘密保持の徹底について

(2) 第2回（令和6年12月26日）

- 電子メール送信時における情報（メールアドレス）の漏洩について
- 誤送信予防対策について
- 不適切事務処理（信用失墜行為）の防止について
- 年末年始における交通法規遵守の徹底について

2 内部通報窓口（専用メールアドレス）への通報状況

(1) 通報対象

- 法令違反又はそのおそれのある行為
- 定款を含む内部規定違反又はそのおそれのある行為
- ハラスメント等の職場環境を害する行為
- その他の不正行為

(2) 通報先

専務理事及び専務理事が指定する常務理事

(3) 実績

0件

事業内容

【公益目的事業の位置づけ】

各事業の公益目的事業について、各事業項目の最後に下記の略称を付す。

◇相談支援事業＝（相） ◇産学官交流事業＝（交） ◇新産業創出・経営革新支援事業＝（創）

◇共同研究等推進事業＝（共） ◇マーケティング支援事業＝（マ） ◇人材育成事業＝（人）

◇広報等事業＝（広） ◇企業再生・事業承継支援事業＝（承）

第1 企画連携事業

機構本部間及び地域センターとの情報共有の強化を図りながら、イノベーション創出事業や自動車部品サプライヤー事業転換支援事業などのセクション横断的な事業を実施するとともに、地域センターに地域連携コーディネーターを配置し、県内各地域の産業支援機関との連携強化による一貫支援機能の深化を図った。

また、「ながの産業支援ネット」機能を活かした産業支援機関職員のスキルアップ、デジタル広報誌による企業の取組成果や機構の支援事例を発信したほか、セミナー等の機会を捉えて、機構の取組に関する情報発信を推進し、支援事業の活用促進に取り組んだ。

I イノベーション創出プロジェクトの推進

1 プロジェクトの芽出し（創）

実績	コーディネート活動件数 2,780件
----	--------------------

プロジェクトマネージャー等を配置し、イノベーションの創出を目指した他分野展開や他業種企業の協業創出等に繋がるモデル事例となりうるプロジェクトの組成に向けて、企業や大学等に対するコーディネート活動を展開したほか、県内企業が大学等と連携して取り組む研究会等の中から先進的で新たなプロジェクトへの発展が期待される取組については、実証に対する財政的支援も含め、伴走支援を実施した。

2 プロジェクトの推進（創）

実績	プロジェクト推進件数 15件
----	----------------

発掘したプロジェクトのうち15件のプロジェクトを認定し、長野県工業技術総合センター、(独)日本貿易振興機構長野貿易センター、(一社)長野県発明協会等と連携し、プロジェクトマネージャーを中心としたハンズオン支援を行った。

また、イノベーション創出支援補助金（補助率1/2以内、上限200万円/件）により、事業化開発や販路開拓など認定企業の事業ステージに応じた取組を支援した。

II 県内産業支援機関との連携に基づく支援体制の構築

1 ながの産業支援ネット会議の開催（交）

実績	ながの産業支援ネット連携推進会議開催 2回
----	-----------------------

ながの産業支援ネット連携推進会議を開催し、県や関東経済産業局、県内の商工団体等の支援策の共有やコーディネーター等情報共有データベースの更新などを行い、支援機関同士の連携強化を図った。

名称	開催期日	開催方式	参加者(人)	内 容
令和6年度 ながの産業支援ネット連携推進会議	令和6年4月22日	オンライン	93	機構、県、関東経済産業局、その他支援機関からの支援施策等の情報提供等
令和6年度 第2回ながの産業支援ネット連携推進会議	令和7年1月24日	オンライン	88	機構、県、関東経済産業局、その他支援機関からの支援施策等の情報提供等

2 産業支援人材の育成（創）

実績	コーディネーター研修会開催 2回 NICE Information Channel の開催 14回
----	--

(1) コーディネーター研修会の開催

機構内職員間の連携を促すとともに職員の資質向上を目的に、機構内で豊富な成果事例を持つコーディネーターらを講師として、コーディネーター研修会をハイブリッドで2回開催した。

開催回	開催期日	内 容
1	令和6年6月17日	資金獲得支援ノウハウ等
2	令和6年7月11日	「対話と傾聴（敬聴）」による支援等

(2) NICE Information Channel

本部各セクション、地域センター、上海・シンガポール駐在員及び東京・大阪・名古屋・グローバル展開推進員等から取組や成果の報告を行うとともに、海外展示会の出展状況のライブ中継等を共有し今後の支援に活かすため、オンラインを活用した職員間の情報発信番組「NIC (NICE Information Channel)」を6月からスタートして、概ね月2回のペースで1月までに14回開催した。

(3) コーディネーター Information

各セクションの事業や補助金等の支援制度を職員が把握するとともに県内企業へ紹介するため、「支援制度のご案内」及び「コーディネーター及び推進員紹介」を作成することで、職員間の情報共有の強化を図った。

Ⅲ 国際的産学官連携の推進

1 国際的な技術交流の推進（共）

実績	連携件数 1件
----	---------

Pool-net（金型、切削加工関連企業や大学等で構成するポルトガルの産業支援機関）や Foodvalley（官民連携で設立されたオランダの食品関連の技術開発支援機関）など、国際的な支援機関との連携・交流を継続するとともに、県内企業との情報交換等を実施した。

2 グローバル展開実践カレッジ（人）

実績	グローバル展開実践カレッジの開催 11回
----	----------------------

海外ビジネスにおけるプレゼンテーションや海外展示商談会を想定した実践的な英語コミュニケーション力を学ぶ講座「グローバル展開実践カレッジ」の初級者向け及び中級者向けとフライヤー作成講座を、長野工業高等専門学校と共催で開講した。

開催期日	主な内容	参加人数
令和6年5月24日	<フライヤー作成講座・塩尻開催>自社の英文フライヤーの見直し、印象に残る英単語・英語文章について	5
令和6年6月21日	<フライヤー作成講座・塩尻開催>各国（地域）の文化的背景を考慮したフライヤー作り、色に対する印象やデザインが与える印象、作成&個別指導	5
令和6年7月12日	<コミュニケーション講座・長野開催>ビジネス英語（一般英語とビジネス英語の違いについて）	20
令和6年7月19日	<フライヤー作成講座・塩尻開催>発表、実践練習	5
令和6年8月9日	<コミュニケーション講座・長野開催>ビジネス英語の基礎表現	20
令和6年9月13日	<コミュニケーション講座・長野開催>ライティングの基礎	19
令和6年10月11日	<コミュニケーション講座・長野開催>英文 E-mail の基礎	16
令和6年11月15日	<アクティビティ講座・上田開催>ビジネスミーティングでの自己紹介	17
令和6年12月20日	<アクティビティ講座・上田開催>ビジネスミーティングの司会・進行	16
令和7年1月17日	<アクティビティ講座・長野開催>BtoB 商談	14
令和7年2月14日	<アクティビティ講座・長野開催>ビジネス場面における交渉	14

Ⅳ 地域課題の解決に向けた産業界の取組促進

1 地域社会課題の解決を目指す共同企画セミナーの開催（交）

実績	NICE イノベーションセミナーの開催 3回
----	------------------------

地域企業のニーズや最新技術、市場動向、社会課題などの情報を提供するために企画・開催する研修会・セミナーなどのイベントについては、地域センターと本部が連携して企画し「NICE イノベーションセミナー」として開催した（企画にあたっては、セミナー等企画運営委員会を7回開催）。

開催回	地域	開催期日	セミナータイトル	連携部署・機関
1	伊那 諏訪	令和6年 11月1日	BEV シフト見直しによる 世界の自動車産業の最新動向	伊那センター 諏訪センター グリーンイノベーション推進部
2	長野 上田	令和6年 12月3日	～デジタル技術で観光業者と 旅行者に魅力的な観光地を～ 観光×DXセミナー	長野センター 上田センター IT バレー推進部 長野県上田地域振興局
3	松本	令和7年 2月7日	2050年カーボンニュートラルに 向けた次世代型太陽電池の開発 について	松本センター グリーンイノベーション推進部 塩尻市振興公社 松本地域産学官連絡会 (松本市)

2 デジタル人材の確保支援（相）

実績	訪問件数 202 件（うちデジタル分野 112 件）
----	----------------------------

長野県プロフェッショナル人材戦略拠点から委託を受け、デジタル担当マネージャーを各地域センターに配置し、デジタル人材に関するニーズの掘り起こしにより、地域企業のデジタル活用促進及びデジタル人材確保を支援した。

V 自動車産業におけるサプライヤーの事業転換推進

1 相談窓口の設置・運営（相）

実績	相談件数 60 件（支援企業数 48 社）
----	-----------------------

プロジェクトマネージャー等を配置し、県内の自動車関係部品を製造する事業者からの事業転換に係る相談や新たに次世代自動車産業に参入を目指す事業者等からの相談に対応した。

2 実地研修・研究会等の実施（創）

実績	環境品質モビリティ研究会 3回 次世代モビリティ関連技術講座 3回 EV分解展示実地研修会 1回
----	--

次世代自動車産業へ参入しようとする県内事業者の機運の醸成や既に自動車関係部品を製造する県内事業者を支援するため、環境品質モビリティ研究会や次世代モビリティ関連技術講座、EV分解展示実地研修会を開催し、県内製造業による次世代自動車産業への参入促進を図った。

名称	開催期日	開催方式	参加企業（社）	内 容
環境品質モビリティ研究会	令和6年5月～ 令和6年10月（3回）	リアル	40	カーボンニュートラル対応など次世代自動車産業に関する最新動向

名称	開催期日	開催方式	参加企業(社)	内 容
次世代モビリティ関連技術講座	令和6年10月～ 令和7年2月(3回)	ハイブリッド	80	CASE対応に伴い必要となる技術や設計生産システムなどの技術動向
EV分解展示 実地研修会	令和6年10月30日	リアル	33	EVに実際に構成されている部品を見て、参入可能性を検討

3 専門家派遣の実施(創)

実績	専門家派遣 4回(支援企業数 2社)
----	--------------------

県内事業者からプロジェクトマネージャー等が聞き取った次世代自動車産業へ参入する際のような課題について、より専門性の高い課題の解決を図るため、国事業で登録された各分野の専門家を派遣するとともに、プロジェクトマネージャー等によるフォローアップを行った。

VI 企業に役立つ支援情報の発信

1 支援制度説明会等の開催(交)

実績	支援制度説明会等の開催 3回
----	----------------

支援制度の活用促進を図るため、機構及び国・県等の提案公募型補助制度に関する説明会や制度の担当者による個別相談会を開催するとともに、機構コーディネーター等による申請書のブラッシュアップを実施した。

名称	開催期日	開催方式	参加者(人)	内 容
長野県産業振興機構支援制度説明会	令和6年4月25日	オンライン	127	機構の補助制度・支援制度の説明、支援事例等の紹介
Go-Tech 業務説明会・個別相談会	令和6年11月13日	ハイブリッド	34	Go-Tech 事業等の紹介及び申請を検討している企業からの個別相談
研究開発等支援制度説明会及び成果報告会	令和7年2月25日	ハイブリッド	45	関東経済産業局や機構の次年度事業の紹介、イノベーション創出事業の成果報告

2 積極的な広報活動の推進(広)

実績	情報発信件数(総数) 146件
----	-----------------

機構の認知度向上のため、機構ホームページやメールマガジン、デジタル広報誌等により、支援施策やセミナー等の情報発信を積極的に行い、支援施策の活用促進を図った。

項目	令和6年度実績
新聞等掲載件数(件)	71
講演依頼等対応件数(件)	6
共催・後援等承諾件数(件)	10
デジタル広報誌発行回数(回)	2
機構メールマガジン配信回数(回)	57

Ⅶ EV分解・部品調査事業（創）

県内企業が電気自動車（EV）の分解を通じて、構造や仕組みを理解し、技術的特徴を把握するとともに、自社の技術力の向上とEV部品の開発・製造に結び付け、EV市場への新規参入及び参入済み企業の技術向上等に繋げることを目的に、事前セミナーや分解講座（実地研修）等を実施した。

内容	開催期日	開催方式	参加者数	内 容
事前セミナー	令和6年11月15日	リアル	54名	事業概要の説明、講演会・試乗会の実施
EV分解講座 （実地研修）	令和6年12月20日	リアル	61名	講演会、分解部品の見学及び個別解説の実施
事業報告会	令和7年2月21日	リアル	55名	講演会、「EV部品の詳細調査」結果等の報告、分解部品の見学及び個別解説の実施

第2 新産業創出支援事業

「長野県産業振興プラン」に基づき、DX（デジタルトランスフォーメーション）、GX（グリーントランスフォーメーション）、LX（ライフ・サービス・トランスフォーメーション）の社会変化を捉えた新産業創出を重点支援するとともに、県内企業等が成長期待分野（健康・医療、環境・エネルギー、次世代交通、IT、食品など）への新事業展開を図るため、提案公募制度を活用した研究開発プロジェクトの組成等を支援し、産学官連携による産業イノベーション創出活動を促進した。

I 次世代産業への支援

1 健康・医療産業分野への支援

実績	医療機器メーカー等とのマッチング	31件
	大手医療機器メーカー等との連携による研究開発	3件
	医工連携ポータルサイト出展企業数	37件
	技術開発補助金による支援件数	4件
	信州大学医療機器産業人材育成プログラムの受講者数	36名
	ベンチャー・スタートアップへの補助金による支援	3件
	海外展示会への出展支援	1社

(1) 専門コーディネーターによる伴走的支援事業（創）

長野県医療機器産業振興ビジョンに基づき、県内企業の医療機器産業への参入を推進するため、医工連携プロジェクトマネージャーを配置し、県内企業による医療機器開発の企

画から販路開拓まで伴走支援を行った。

ア 医療現場等のニーズを探索し県内企業へつなげることによる医工連携の推進

県内企業の医工連携による医療現場の課題解決に資する機器の研究開発、実用化につなげるため、県内ものづくり企業が持つ製品や技術シーズ、受託事業（ODM、OEM）の内容等を展示し、医療機器メーカーやディーラーが持つニーズとの個別マッチング商談会を行う長野県医工連携展示商談会を開催し、販路拡大を支援した。

- ・日時：令和6年9月19日（木）10:00～17:00
- ・場所：医科機器会館 2階セミナーホール（東京都文京区）
- ・出展企業数：20社

イ 実証による開発可能性プロジェクトの創出

新たな医療機器等を開発するために行う概念実証（原理試作を含む）プロジェクトを支援するため、県内企業と大手医療機器メーカーや医療系ベンチャー等との連携による研究開発を委託した。

委託先（所在地）	研究開発テーマ
野村ユニソン(株)（茅野市）	顎骨再建の術前シミュレーションに使用する腓骨モデルの開発
高島産業(株)（茅野市）	AVシャント用埋込デバイスの開発
長野テクトロン(株)（長野市）	むくみ検査用センサの開発

ウ 長野県医工連携ポータルサイトを活用したオンライン展示・商談会の開催

販路拡大を支援するため、(株)日本医工研究所が運営する医工連携プラットフォーム(web)に「長野県医工連携ポータルサイト」を開設し、県内企業及び信州大学の技術シーズ等を掲載して、医療現場や医療機器製造販売企業等のニーズとのマッチング商談会を開催した。

【長野県医工連携ポータルサイト】

掲載企業数：37件 マッチング件数：10件

【医工連携オンラインピッチ】

開催期日	参加者	内 容
令和6年12月12日	27名	【セミナー】 人工膝関節置換術のデジタルトランスフォーメーション 【オンラインピッチ】 県内企業4社

エ 国内外の展示会における事業展開支援

①諏訪圏工業メッセ2024【出展者7社】R6.10.17～19

企業名（所在地）	展示内容
シナノケンシ(株)（上田市）	空気配管を使わない酸素ブレンダの試作
AssistMotion(株)（上田市）	小児用歩行トレーニングロボット curara
ファミリー・サービス・エイコー(株)（長野市）	気管挿管時の早期スニッフィングポジション確保ができる医療機器の開発
キッセイコムテック(株)（松本市）	睡眠解析クラウドサービス

企業名（所在地）	展示内容
(株)オーセンアライアンス（茅野市）	日本製医療機器マセレーターの開発
(株)西軽精機（佐久市）	骨手術用器械の開発
(株)ダイヤ精機製作所（岡谷市）	鼻腔など閉所で縫合しやすい持針器開発

②国際医療機器展示会「COMPAMED2024」【出展者8社】R6.11.11～14

企業名（所在地）	展示内容
シチズンファインデバイス(株)（北佐久郡御代田町）	マイクロ流体デバイス
(株)TOTOKU（上田市）	エナメルリード線、通電性繊維、フィルムヒーター
共栄電工(株)（岡谷市）	特殊鏡面内面研磨
(株)ナノ・グレインズ（諏訪市）	医療機器向け材料 nanoSUS 及び部品
三和ニードルベアリング(株)（茨城県つくば市※）	nanoSUS オイルレス・ベアリング
AssistMotion(株)（上田市）	歩行支援ロボット curara
(株)スキノス（上田市）	生体計測機器
(株)ナフィアス（上田市）	高通気性 N95 マスク

※中小企業医療機器開発ネットワーク（諏訪市）の企業と協業

(2) アドバイザーによる相談支援事業（創）

薬機法や保険収載適用に関する相談に応じるため、信州医療機器事業化開発センター信州大学オフィスに相談窓口を設置した。【相談件数：5件】

(3) 医療機器デジタル・クロスイノベーションプロジェクト促進事業

新たな価値を創造する医療関連システムのデジタル化や医療機器開発プロジェクトの組成を推進するため、県内企業と医療機器産業に携わる開発プレーヤーとのマッチングを業務委託した。

・委託先：プレモパートナー(株)

【面談数16件、試作着手数10件、NDA締結数5件、PoC委託事業採択数2件】

(4) 医療機器開発等補助事業（共）

医療機器等の試作開発及び販路開拓を支援するため、補助金を交付した。（補助率1/2以内、上限額1,000万円/件）

補助対象者（所在地）	開発テーマ
(株)スワニー（伊那市）	3Dプリンタを活用した小児歩行障害者向け長下肢装具の開発
ファーマックメディカル(株)（茅野市）	大動脈弁手術用器械の開発
アスザック(株)（上高井郡高山村）	審美歯科用パウダージェットデポジション装置の開発
(株)ズー（上田市）	AIを使った処方箋OCR機能を搭載した新規クラウド型薬局システムの開発

(5) 医療機器開発人材育成プログラム運営事業（人）

県内企業の人材育成を支援するため、医療機器研究開発人材育成プログラムの運営を信州大学へ委託した。【受講者：36名】

(6) 医療系ベンチャー・スタートアップ創出促進事業（創）

創業者や第二創業者が医療機器等の本格的な開発前に行う概念実証（原理試作を含む）を支援するため、補助金を交付した。

補助対象者（所在地）	検証テーマ
アスザック(株)（上高井郡高山村）	半導体式ガスセンサーを用いた疾病スクリーニングの技術開発
YITOA マイクロテクノロジー(株)デバイス開発センター（茅野市）	救命救急通報システム
(株)ウイルダイフレックス（上田市）	整形外科領域における近赤外線領域の波長 LED を用いた光治療器の開発

(7) 国内外医療機器メーカーへの技術PR事業（マ）

海外の医療機器メーカー等に対し、県内企業が保有する技術をPRし、部材供給やOEMなどの販路開拓を支援するため、医療機器等の国際展示会 Arab Health2025（ドバイ）に長野県ブースを出展した。

展示会名	会期	会場	支援企業
Arab Health2025	令和7年1月27日～ 令和7年1月30日	Dubai World Trade Center	(株)ナイツ 坂城事業所 （埴科郡坂城町）

2 航空宇宙産業分野への支援

実績	人材育成補助金による支援 3件 講習会等の開催回数 4回 技術開発補助金による支援件数 3件
----	--

(1) 航空機産業支援機能強化事業（創）

長野県航空機産業振興ビジョンに基づき、県内企業の航空機産業の参入を支援するため、エス・バード内（飯田市）航空宇宙産業分野専任コーディネーター1名、と機構本部に航空機産業支援アドバイザー1名を配置し、NAGANO 航空宇宙産業クラスターネットの共同事務局を運営した。

支援施策	支援内容	支援者数等
NAGANO 航空宇宙産業クラスターネットのメルマガ運営	NAGANO 航空宇宙産業クラスターネットの共同事務局として情報提供等の支援実施	会員数 103 社 (R6：3 社増)

(2) 航空機部品品質保証力等強化事業（人）

県内中小企業が実施する航空機産業人材の育成や社内体制整備を支援するため、補助金を交付した。

また、航空機産業人材の高度化のため、JISQ9100 内部監査員等の専門講師を招へいし、

講習会を開催した。

補助事業名	補助対象者（所在地）
航空機産業人材育成補助金	多摩川パーツマニュファクチャリング(株)（飯田市）
航空機産業企業内体制整備補助金	多摩川パーツマニュファクチャリング(株)（飯田市） (株)矢崎製作所（飯田市）

講習等の名称	開催場所	開催期日	参加者
JISQ9100 内部監査員養成研修	エス・バード	令和6年7月11日 ～令和6年7月12日	7社11名
品質保証まるわかりセミナー	エス・バード	令和6年11月7日 ～令和6年11月8日	3社7名
JISQ9100 内部監査員養成研修	エス・バード	令和6年12月5日 ～令和6年12月6日	4社9名
生産技術人材育成研修	エス・バード	令和7年1月17日	14社23名

(3) 航空機システム等研究開発支援事業（共）

航空機の分野における新技術の特定、新技術の具現化及び実用化を支援するため、県内の中小企業等が行う航空機システム等の研究・試作開発に補助金を交付した。（補助率 1/2 以内、上限額 200 万円/件）

補助対象者（所在地）	開発テーマ
(有)ナツバタ製作所（須坂市）	航空機エンジン部品素材の超難削材に対応する超短パルスレーザーによる刃先成型
(株)小松製作所（松本市）	航空機用パッセンジャーステップの開発
多摩川パーツマニュファクチャリング(株)（飯田市）	Ti-6Al-4V の加工手法変更による加工時間短縮と刃具寿命延長

(4) 航空機関連展示会出展支援事業（マ）

県内企業と国内外の航空機関連企業とのビジネスマッチングを促進するため、2024 国際航空宇宙展へ長野県ブースを出展した。

企業名	商談件数
ゴコー電工(株)（諏訪郡富士見町）	14
Aerospace 飯田（飯田市）	10
多摩川精機(株)（飯田市）	12
羽生田鉄工所(株)（長野市）	3
(株)フクシマ（上伊那郡飯島町）	-

3 食品産業分野への支援

実績	新たな商品開発に向けた支援件数	25 件
	フードテックに関する研究会の設置・運営件数	4 件

(1) 信州フードテック転換支援委託業務（創）

ア 時代に即した県内食品産業の促進、構築のため、県内企業の発酵食品・機能性表示食品等の食品技術（フードテック）による新商品の開発を支援した。

イ フードテック関連に係る研究会の運営

研究会名	内 容	開催状況	参加者数等
信州発酵フードテック研究会 (令和5年度～)	発酵食品製造業が有する発酵技術の活用や他の技術融合によって、高付加価値な商品開発等に係る研究会	開催2回	延べ69名
信州食品産業資源有効活用研究会 (令和5年度～)	食品関連産業における低・未利用資源について技術・商品開発を行い、アップサイクルなどの高付加価値化を図ることで、資源循環型産業の構築等を目的とした研究会	開催2回	延べ62名

II グリーンイノベーションの推進

実績	ゼロカーボン関連技術に関する研究会の設置・運営件数 5件 技術開発補助金による支援件数 7件 カーボン排出量の可視化支援件数 20者 提案公募型研究開発プロジェクト運営件数 8件
----	--

1 ゼロカーボン関連技術の事業化支援

ゼロカーボン関連技術の研究開発や、製品のライフサイクルにおけるカーボン排出量の可視化・削減等のため、専任のテクノコーディネーター等を3名配置し、県内企業の取組を支援した。

(1) ゼロカーボン関連技術の事業化支援事業（創）

ア ゼロカーボン関連技術に係る研究会の運営

研究会名	内 容	開催状況	参加者数等
信州酸化ガリウムデバイス化研究会 (令和3年度～)	信州大学で開発された、単斜晶構造（β型）酸化ガリウム結晶を用いたパワーデバイス開発に係る研究会	連絡会議 1回開催	会員数 9社
サーキュラーエコノミーイノベーション研究会 (令和4年度～)	県産木質材料や農産物・食品残渣とバイオ系樹脂等との複合化による低環境負荷材料の開発、早期社会実装に向けた研究会	3回	延べ262名
工業用燃料電池システム研究会 (令和4年度～)	工場の生産ラインに導入可能な工業用燃料電池の普及を目指す研究会	4回	延べ183名
環境品質モビリティ研究会 (令和4年度～)	EV や FCV への部品転換や製造時におけるカーボン排出量の削減など環境品質に係る研究会	3回	延べ105名

研究会名	内 容	開催状況	参加者数等
小規模水力発電研究会 (令和5年度～)	地産地消エネルギーとして優位性を持つ小規模水力発電の技術的・社会的課題解決を目的とした研究会	3回	延べ138名

イ その他

ゼロカーボンに取り組む県内企業の取組をPRし、参画、連携を誘発するため、「諏訪圏工業メッセ 2024」、「Matching HUB Hokuriku2024」及び「環境産業見本市」に支援事例を出展した。

(2) ゼロカーボン技術事業化支援補助金

県内企業による製品化までのプロセスを加速するため、既に技術的な検証が終了し、実用化を目的としたゼロカーボン関連製品・技術等の開発に対し補助金を交付した。

(補助率1/2以内、上限額1,000万円/件(特にCO2排出量の削減が認められる場合補助率2/3以内、上限額2,000万円/件))

補助対象者(所在地)	開発テーマ名	補助金額
上田プラスチック(株) (上田市)	県産のクルミ殻、リンゴ搾滓を配合した複合プラスチック素材の開発と環境影響評価	7,140千円
(株)大澤屋(長野市)	温室効果ガス(GHG)削減飼料の開発による持続可能な畜産業への貢献	9,000千円
シチズンファインデバイス(株)(東御市)	燃料を効率的に燃焼させるための大型船舶エンジン向け筒内圧(燃焼圧)センサの開発	1,260千円
(株)城南製作所(上田市)	CO2排出量削減と省力省人化を両立した農業向けの電動省力化機器の開発	9,000千円
シントク(株)(諏訪市)	電力の自給自足を可能とする小型水素発電システムの開発	5,550千円
(株)寿精工(岡谷市)	超軽量小型モーターの開発	4,250千円
(株)ニチワ工業(茅野市)	次世代半導体材料の新規加工方法の研究開発	1,020千円

(3) カーボン排出量可視化・削減支援事業(創)

県内企業のカーボン排出量の可視化及び削減を支援するため、県工業技術総合センター環境・情報技術部門と連携し、セミナーの開催、専門家による助言等を実施した。

セミナー等	支援内容	支援件数等
カーボン排出量可視化・削減支援	長野県工業技術総合センターと共催により、LCA手法に関する勉強会及び実践的なセミナーを開催	勉強会3回 実践セミナー1回
カーボン排出量削減に係る伴走支援	長野県工業技術総合センターと連携し、専門家チームに参加し、県内企業のカーボン排出量の削減に係る助言等	支援件数6件

(4) エレクトロニクス技術の高度化(創)

県内企業が省エネ、省電力等の環境負荷低減に貢献するため、新たな技術改革、新材料技術等の高度化を促進し、持続的発展と新ビジネスの創成を目指す研究会を開催した。

研究会名	内 容	開催状況	参加者数
磁気エレクトロニクス（広範）研究会	省エネ、省電力等の環境負荷低減に必要とされる磁性材料技術の研究会	1回	39名
次世代パワーエレクトロニクス研究会	次世代半導体製造技術・実装技術の開発を促進するための研究会	2回	延べ107名

2 競争的資金を活用した共同研究支援

成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業／経済産業省）等の競争的資金の獲得及び円滑な事業遂行を支援するため、申請書の書き方や助言、採択された研究開発プロジェクトについて事業管理機関として補助金の執行やスケジュール管理等に努めた。

	研究開発計画名	主たる中小企業	連携 大学・公設試等	計画期間 (年度)
1	大口径（300mm）ウエハに対応した高耐熱性めっき技術の開発	大和電機工業(株) (諏訪郡下諏訪町)	信州大学	令和4～6
2	農業土壌の即時分析評価技術の研究開発	(株) Henry Monitor (諏訪市)	信州大学	令和4～6
3	カーボンニュートラル対応水素・燃料電池を用いたトライ・ジェネレーション・システムの製品化開発	マイクロコントローラシステムズ(株) (佐久市)	信州大学	令和5～7
4	微細 TGV（ガラス貫通孔付き）のインターポザーの研究開発	(株)ニチワ工業 (茅野市)	諏訪東京理科大学	令和5～7
5	超精密転写・切断・形状修正による高精度強湾曲 X 線ミラー製造プロセスの開発	夏目光学(株) (飯田市)	東京大学	令和5～7
6	アモルファス合金箔の高耐久プレス金型及びプレス技術の研究開発	ナカムラマジック(株) (上伊那郡箕輪町)	大阪大学 県工業技術総合センター	令和5～6
7	複雑形状をした中・小型部品向け炭素繊維強化プラスチック（CFRP）テープ積層装置の開発	アスリート FA(株) (諏訪市)	金沢工業大学	令和6～8
8	塑性流動性結合技術の異種積層材への拡張と自動車、産業機器、家電品等への応用	太陽工業(株) (茅野市)	千葉工業大学 県工業技術総合センター	令和6～8

Ⅲ 信州 IT バレー構想の推進

1 IT 産業振興に向けた支援

実績	展示会等への出展 3回 コンソーシアム活用型 IT ビジネス創出支援事業支援件数 10件
----	---

(1) 推進協議会運営事業（交）

信州 IT バレー構想を推進するため、専門人材であるコーディネーター等を配置し、信州 IT バレー推進協議会（NIT）の事務局として、IT 人材・IT 産業の集積、県内産

業のDX（デジタルトランスフォーメーション）の推進や高度化の加速に努めた。

ア 企業が持つ経営課題と、県内IT企業やIT人材とのマッチングを図るため、これらが持つデジタルソリューションをマッチングサイト「NIX（NAGANO INFOTECH CROSSING）」で公開した。

県内IT事業者	登録ソリューション
82件	61件

イ NIT事務局や構成員が実施している支援施策を周知するため、HPやSNS等を活用して国内外へ情報を発信した。

ウ NITの活動や県内IT事業者が行うプロジェクトを紹介し、IT企業等の集積を図るため、大都市圏で開催される展示会等に出展した。

展示会名	会期	来場者
京都スマートシティエキスポ2024	令和6年10月3日～4日	約100名
CEATEC2024	令和6年10月15日～18日	約150名
Japan IT Week 関西	令和7年1月15日～17日	約450名

エ 産学官民連携によるIT人材の高度化のため、ものづくり技術を有するDX人材の育成を目的とした信州P-Techコンソーシアムへ参画をした。

オ NIT構成員の交流や連携を深化させるため、事務局会議やプランシエアカフェを開催した。

事業	内容	参加者数
NIT事務局会議	協議会の施策内容の情報交換、検討	—
NITプランシエアカフェ	構成員相互情報発信や交流	延147名

カ 国外のIT産業先進地域の取り組みを把握、また県が行うIT人材獲得事業協力のため、海外でのイベント、研修に参加した。

イベント/研修名	出張先国	会期
海外IT人材獲得支援事業（県事業協力）	バングラディッシュ	令和6年5月8日～13日
Latitude59(IT事業誘致イベント)	エストニア	令和6年5月22日～29日
SMART CITY EXPO WORLD CONGRESS	スペイン	令和6年11月4日～10日

(2) コンソーシアム活用型ITビジネス創出支援事業（共）

県内IT企業の革新的なITビジネスを創出し、産学官連携による共創を形成するため、スマートエデュケーション、地域交通や地域医療などの地域資源の活用や地域課題の解決等に資するITシステムの開発を支援した。

ア 産学官協働プロジェクト生成支援

産学官協働プロジェクトの生成を行うため、NIT構成員でもある一般社団法人信

州産学みらい共創会が推進している観光DX事業を支援した。

(ア) 「第1回観光DX・マーケティングEXPO」への出展支援

(イ) 「信州発 観光・地域活性化DXコンソーシアム(長野市HUBプロジェクト)」の
コンソーシアム先の連携紹介、周知支援

イ 「プロジェクト共創ネットワーク」の活動支援

信州ITバレー構想実現の加速化に向けて、令和4年11月に発足した「プロジェクト共創ネットワーク」内における下記の部会と連携し、セミナーやワークショップを実施した。

部会名	セミナー等名称	開催期日
グローバル部会	日独連携セミナー・企業相談会	令和6年10月22日
地域DX推進部会	Copilot ハンズオン支援体験会	令和7年1月30日・2月6日
地域DX推進部会	実践型DXワークショップ	令和7年2月6日

ウ IT企業へのシステム開発支援

県内IT中小企業の産学官連携コンソーシアム構成によるITシステム開発を支援するため、教育や環境、防災などの地域課題の解決やVR、ブロックチェーンなど地域に新たな価値を創出する研究開発に補助金を交付するとともに成果報告会を開催した。(補助率1/2以内、上限額500万円/件)

○採択事業者一覧

補助対象者(所在地)	開発テーマ
アルティメイトプロジェクト(株) (諏訪市)	【めっき業界】DXで実現する“多品種多要件”受注業務の効率UP～AI活用により多様な受注票を自動でデータ化する～
(株)AB.do(長野市)	3Dデータ高精度化による地域、業種を超えた産業DX～観光、防災、多次元地域DB構築へ～
(株)キャストィネット(飯田市)	地域企業との連携を見据えた共創型のスマート経理支援システムの開発
(有)ケー・アンド・エフコンピュータサービス(長野市)	生成AIを活用した校務負担軽減のための教育支援DXプロジェクト
(株)ズー(上田市)	認知機能低下予防への新たなアプローチ「エンタメヘルスケアアプリ」の利用拡大について
(株)SKIDAY(北安曇郡白馬村)	スキー・スノーボード向け最新コンディション情報共有プラットフォーム「SKIDAY LIVE」の構築
(株)ソルティスター(塩尻市)	中小企業でも導入可能な遠隔監視サービス
(株)羽生田鉄工所(長野市)	人工衛星データによる上水道漏水推定箇所の調査
ハリコム(株)(上田市)	Dual Detector”IBUTSU”(AI異物検査機)
マリモ電子工業(株)(上田市)	地域活用を目指すローコストなローカル5Gインフラの開発

○コンソーシアム活用型 I Tビジネス創出支援事業 成果報告会

開催期日	開催方式	内容	参加者
令和7年3月21日	現地及びオンライン	補助事業者10件のI Tシステム開発プロジェクトの成果発表	65名

(3) デジタル化一貫支援体制整備事業（創）

県内企業等のデジタル化による省力化等を一貫体制で支援するため、商工団体や県内 I T企業等とともにデジタル化支援の情報を集約した「長野県デジタル化一貫支援サイト」を開設し、関係機関と連携して活用を促すセミナー等を実施した。

○県内事業者等を対象としたセミナー等

セミナー名	開催期日	参加者
中小企業省力化投資補助金セミナー	令和6年9月26日	70名
長野県デジタル化一貫支援サイト活用説明会	令和7年1月24日	67名
I o T研究会	令和7年2月28日	13名
佐久D X推進セミナー	令和7年3月12日	41名

○産業支援機関等を対象としたセミナー等

セミナー名	開催期日	参加者
県下商工会議所 経営指導員研修	令和6年9月11日・25日	84名
商工会職員研修会（専門分野別研修） コースB（I T関連(D X)コース）	令和6年12月11日・12日	42名
長野県I Tコーディネータ協議会 理事会	令和6年12月21日	13名
第2期ながの産業支援ネット連携推進会議	令和7年1月24日	109名

2 産業D Xの推進

実績	相談件数 131件 セミナー・研修の開催件数 3回（産業D X推進事業） 長野県デジタル化一貫支援サイトの開設 サイト利活用説明会実施件数 8回
----	---

(1) 産業D X推進事業（交）

「長野県D X推進ラボ」として、県内中小企業等へデジタル技術を普及するため、産業D Xコーディネーター2名を配置し、D Xやデジタル技術の活用に関する県内中小企業からの相談に対応するとともに、セミナーや研修会などを通して人材育成に努めた。

ア 産業D Xコーディネーターによる相談対応

県内中小企業のD XやA I・I o T等デジタル技術の活用を支援するため、経営効率化、経営革新などに関する相談に対応した。

相談件数：延べ 131 件

イ セミナー・研修会等の開催

経営課題に対するデジタル化の導入（必要性の有無を含む）検討を促すため、県内中小企業等やIT企業、産業支援機関など、地域産業のDX等を進める者を対象としたセミナー・研修を開催した。

○セミナー

セミナー名	開催期日	開催場所（方式）	参加者数
DXファーストステップセミナー	令和6年7月26日	県工業技術総合センター 及びオンライン	29名
デジタルリテラシー人材育成研修キックオフセミナー	令和6年10月8日	松本商工会議所 及びオンライン	46名

○研修

研修名	開催期日	開催場所	修了者数
デジタルリテラシー人材育成研修	令和6年11月1日～ 令和7年2月28日	松本ものづくり産業支援センター（松本市）	16名

ウ 講師派遣等による人材育成支援

県内中小企業のDXやAI・IoT等デジタル技術の活用を促進するため、以下の講演依頼に対応した。

名称	対応期日
信州P-TECH スタートアップ講話	令和6年5月15日
DX実践ワークショップ	令和6年6月7日
生成AI活用セミナー	令和6年9月30日
長野県電子工業技術研究会	令和7年2月28日
佐久DX推進セミナー	令和7年3月12日
伊那市令和6年度課題解決プロジェクト優秀計画選考審査	令和7年3月14日

エ マッチング支援

AI・IoT等先端技術利活用支援拠点として、県内企業のAI・IoT、RPA等の導入を支援するため、相談対応やマッチングに努めた。

第3 経営支援事業

県内中小企業等が、経営環境の急激な変化等に柔軟に対応して継続的な経営ができるよう、経営上の様々な課題への相談対応、受発注取引、販路開拓等の支援を行うとともに、企業再生支援、事業承継・事業引継ぎ等の支援を行った。

I 相談支援

1 よろず支援拠点事業（相）

実績	一般相談件数 9,229 件 課題解決件数 329 件 セミナー・相談会開催件数 136 回 Facebook ページフォロワー数 1,268 人
----	--

よろず支援拠点では、中小企業等からの様々な経営課題に対して、26名のコーディネーターが迅速かつ丁寧にワンストップで対応した。新型コロナウイルスの収束後も、物価の高騰、人手不足、価格転換など多くの課題が存在するが、これに対処するため、売り上げ拡大、マーケティング、資金繰り、価格転嫁交渉アドバイス、人材確保に向けた相談への対応を強化した。また、相談機能を拡充するために地域センターの5ヶ所を含む県内18ヶ所にサテライトを継続設置した。

コーディネーターは講師として、価格転嫁交渉のポイント、売り上げ拡大、ネット販売など、事業者の身近な課題をテーマにしたセミナー・相談会136回開催した。さらに、価格転嫁交渉支援に対応するため「価格転嫁サポートチーム（6名）」を組成し中小企業診断士や社会保険労務士、ファイナンシャルプランナー等の専門家が連携して対応した。

この他、女性向け創業者を集めたセミナー・情報交換会も実施し、創業者への支援を積極的に行った。

II 新事業創出・経営革新等支援

1 創業支援

実績	専門家派遣件数（創業者） 293 回 地域課題解決型創業支援事業支援対象者 32 名
----	---

(1) 専門家派遣事業（創業者向け）（創）

創業を予定している者や創業間もない事業者の経営課題を解決するため、当機構に登録している専門家を派遣し、無料で診断・助言を行った。

- ・専門家派遣企業数（創業者）37 企業
- ・専門家登録者数 211 名

(2) 地域課題解決型創業等支援事業（創）

県内経済を担う次世代産業を創出するため、地域の課題をビジネスの手法で解決するソーシャル・イノベーションによる創業を目指す者に対して、創業経費を補助（補助率 1/2 以内、上限 200 万円/件）するとともに、伴走支援員 2 名による創業者の掘り起こしやフォローアップ体制の強化を図った。

87 件の応募があり、「社会性」「事業性」「必要性」「遂行能力」の観点から審査した結果、32 件を採択し、全件が年度内に創業した。

【主な事業例】

事業者名（創業者）	実施地域	事業内容
なかたカフェ （小沼幸枝）	飯田市	未就学児とその家族が安心して集える居場所の運営事業
合同会社 Tree （土屋宏樹）	佐久市	体験型チーズ工房による地域&農業活性化拠点の形成事業
GnoSnake （石坂秀成）	長野市	教育過疎地域における中高生の課外活動及び自主学习支援事業

2 経営革新等支援

実績	専門家派遣件数（一般向け） 285 回
	中小企業等外国出願支援事業補助金支援件数 11 件

(1) 専門家派遣事業（一般向け）（創）

中小企業者が抱える経営、技術、人材育成、情報化、海外展開及びマーケティング等の様々な課題を解決するため、当機構に登録している専門家を派遣し、診断・助言を行った。

- ・専門家派遣企業数（一般向け） 28 企業（うちDX関連3件）
- ・専門家登録者数 211 名

(2) 中小企業等外国出願支援事業（創）

優れた技術等を有する県内中小企業者等の経営基盤の強化、国際競争力の向上、海外市場への新たな参入及び事業展開を促進するため、中小企業の外国への特許、実用新案、意匠及び商標登録出願等に要する費用の一部を補助した。

内訳	件数（件）
特許	9
商標	2

(3) 農商工連携支援基金助成金フォローアップ事業（創）

平成 21 年度から令和元年度までの助成金活用事業（62 件）のうち平成 29 年度から令和元年度の（10 件）に対して事業の進捗管理を行った。

Ⅲ マーケティング支援

1 総合支援

(1) マーケティングコーディネート事業（マ）（人）

実績	セミナー開催 1 回
----	------------

マーケティング支援部事業について、消費財分野の総括的な指導・提言を行う特別顧問を配置し、マーケティングの重要性の浸透を図るための特別顧問のコーディネートによる

マーケティングセミナーをオンラインで開催した。

消費財マーケティングセミナー（中村胤夫特別顧問）

開催日	会場	内容	参加者数(人)
令和6年4月19日	オンライン配信拠点: 信州首都圏総合 活動拠点(銀座 NAGANO)(東京 都)	プログラム1 食品生産事業としての食品安全への取 組みについて フードサポートムツミ 代表 沼博之氏 プログラム2 コンソーシアム活用型ITビジネス創出 支援事業活用によるHACCP管理システム について 長野県産業振興機構 ITバレー推進部 テクノコーディネーター 宮澤秀直氏	111

(2) 中小企業販路開拓助成事業(マ)

実績	商談件数 1,305 件
----	--------------

ア 県内ものづくり企業の技術や製品をPRするため、海外又は県外で開催される製造業関連の展示会(オンライン展示会を含む。)に共同出展する団体又は単独で出展する中小企業に対し、出展等に要する費用の一部を助成した。

・対象経費・助成率

国内展示会 小間料の1/3以内(小規模事業者向け助成金は2/3以内)

海外展示会 小間料及び小間料以外の経費(通訳代及び輸送費等)総額の1/2以内
(小規模事業者向け助成金は2/3以内)

オンライン展示会 出展料の1/3以内(小規模事業者向け助成金は2/3以内)

・助成限度額

・国内展示会	20万円
・海外展示会	75万円
・オンライン展示会	20万円

一般向け助成金

交付企業	52 企業
交付実績額	3,700 千円

小規模事業者向け助成金

交付企業	12 企業
交付実績額	2,070 千円

イ 円安局面における県内の中小企業者の海外マーケットにおける新市場開拓や販路拡大を支援するため、海外で開催される製造業関連の展示会(オンライン展示会を含む。)に共同出展する団体又は単独で出展する中小企業に対し、出展等に要する費用の一部を助成した。

・対象経費・助成率

海外展示会およびオンライン展示会

小間料及び小間料以外の経費（通訳代及び輸送費等）総額の 2/3 以内

・助成限度額

海外展示会およびオンライン展示会 100 万円

中小企業海外販路開拓助成金

交付企業	27 企業
交付実績額	15,808 千円

(3) 取引適正化相談事業（マ）

実績	移動相談会開催 2 回
----	-------------

中小企業の経営活動で生じる取引上のトラブル等の相談窓口「下請かけこみ寺」において、専門相談員 2 名を配置し相談対応を行った。また、下請取引の適正化のための移動相談会を 2 回開催した。

さらに、原材料価格やエネルギーコストに加え労務費が上昇している中、適切な価格転嫁が必要であるため、価格交渉の基本から実践までの交渉ノウハウや実践事例等を学ぶ価格交渉サポートセミナーを 1 回開催した。

下請かけこみ寺相談企業数	213 件
--------------	-------

価格交渉サポートセミナー

開催日	会場	テーマ（内容）	講師	参加人数
令和 6 年 7 月 9 日	オンライン	第 1 部 国の「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」と「取引適正化・価格転嫁促進に向けた取組」 第 2 部 「労務費や原材料費等の適切な転嫁のための価格交渉実践ポイント」	経済産業省中小企業庁事業環境部取引課 総括補佐 川森 敬太 氏 ひぐち経営コンサルタント 代表 樋口 武伸 氏	305

(4) 海外展開現地支援事業（マ）

上海市の「上海事務所」に駐在員 1 名を配置して、中国市場の情報収集・提供等を行い、県内企業の海外展開を支援した。

主な業務内容	件数等	
情報収集・提供（一般経済情報・市場情報等）	760 件	
現地見本市等への出展支援等	32 件	
販路開拓支援（商談会等）	商談会等回数	7 回
	参加企業数	8 社
	商談件数	240 件
	成約金額	378 千円

2 生産財販路開拓支援

県内中小企業の受注拡大や新規取引先開拓等を支援するため、次の事業を行った。

(1) 受発注取引支援事業

ア 受発注取引のあつ旋（マ）

実績	あつ旋紹介件数 1,292 件 新規取引成立 23 件
----	--------------------------------

県内で生産財（工業製品）を加工・製造している企業の受発注取引や販路開拓に関する相談に対応するため、県内4か所（上田、諏訪、伊那、松本）に「受発注取引推進員」4名を配置し、企業訪問等による取引相談及びあつ旋を行うとともに、職員の企業訪問による受発注取引のあつ旋を行った。

イ 発注の開拓（マ）

実績	企業訪問 502 社 発注案件 304 件
----	--------------------------

三大都市圏の発注企業と県内の生産財に係る受注企業との取引を推進するため、県外3か所（東京、名古屋、大阪）に「発注開拓推進員」3名を配置し、企業訪問等による発注開拓を行い、受発注取引推進員や職員と連携して取引あつ旋紹介を行った。

受発注取引あつ旋・紹介（県内・県外分合計）

項 目		実 績
発注申出件数		304
受注申出件数		542
あつ旋紹介結果	成立件数	23
	不成立件数	1,720
	折衝中の件数	434
契約成立当初受注金額（千円）		15,959

ウ 調査・情報提供（マ）

県内受注企業の経営動向を把握するための調査や「特色加工技術保有企業情報」や「受発注ニュース」の発行等を行った。

調査・情報提供

項 目	実 績	摘 要
登録受注企業経営動向調査	4 回	調査対象 200 社
受発注ニュースの発行	12 回	インターネットによる発信等

(2) ものづくり国内販路開拓支援事業

ア セミナーの開催（マ）（人）

実績	提案営業向上セミナー 1 回 経営戦略セミナー 1 回
----	--------------------------------

多様化する顧客（取引先）のニーズに対し、市場の変化や顧客の購買活動に対応した営業力を身につけるための提案営業・交渉力・プレゼン能力向上セミナーを開催し、実際に営業活動を行う新規開拓実践研修を実施した。

また、企業経営者向けに、激変する外部環境に対し、地域の強みを活かした産業の創出

を図るための経営戦略セミナーを開催した。

ものづくりマーケティングスキル向上セミナー

内 容		開 催 日	会 場	受講者数 (人)
提案 営業 向上 セミ ナー	提案営業・交渉力・プレゼン 能力向上セミナー（5回）	令和6年9月19日 10月3日 10月24日 11月6日 11月14日	テクノプラザ おかや（岡谷市）	53
	新規開拓実践研修（1回）	令和6年10月10日	テクノプラザ おかや（岡谷市）	41
	テレアポ実践研修（面談機 会の創出・商談力の強化）	研修期間中 商談件数 28件		
経営 戦略 セミ ナー	経営戦略セミナー（1回）	令和6年12月19日	シャトレゼ [®] ホテル長野 （長野市）	68

イ 商談会の開催（マ）

実績	商談会開催 12回
	商談件数 1,044件

(ア)国内における新規受注の確保や取引先の開拓を支援するため、県内中小企業を募
って県外のメーカー等を訪問し、設計・開発・購買担当者に直接自社の新技術や新工
法を提案する技術提案型商談会をオンライン方式も取り入れ開催した。

技術提案型商談会

訪問先企業	開催方式	参加企業 数（社）	商談件数 （件）	成立件数 （件）	成立金額 （千円）
㈱ニレコ、㈱明電舎、 SEMITEC㈱他1社	オンライン	延べ 12	44 （会期後～ 3か月）	2 （会期後～ 3か月）	300 （会期後～ 3か月）
テルモ㈱、㈱佐賀商工社 他5社	対 面	延べ 59	458 （会期後～ 3か月）	36 （会期後～ 3か月）	5,520 （会期後～ 3か月）

医療機器メーカーによる事前（技術ニーズ）説明会及び医療機器ビジネス参入フォーラム

開催日	会場	内容	参加者数 (人)
令和6年9月6日	シャトレゼホテル 長野（長野市）	技術提案商談会を開催する 医療機器メーカーの会社概 要、商品化に向けた取組と長 野県企業に期待すること、医 療機器メーカーとベンチャ ー・スタートアップ企業との 連携による製品化事例等	64

(イ) 愛知県、岐阜県、三重県、静岡県と連携して中京圏の発注企業を開拓し、県内受注企業とのマッチングを行い、名古屋で「マッチングフェア in 名古屋」を開催した。
 マッチングフェア in 名古屋 2024

開催日	会場	参加企業数 (社)	商談件数 (件)	成立件数 (件)	成立金額 (千円)
令和6年10月16日	愛知県産業労働センター (ウイックあいち)	長野県 61 5 県計 428 発注側 158	542 (会期後 3 か月)	2 (会期後 3 か月)	1,100 (会期後 3 か月)

ウ 展示会の開催及び出展支援 (マ)

実績	商談件数 1,001 件
-----------	---------------------

(ア) 長野ものづくり技術展

県内製造業の特長である精密加工技術を P R し、新たな市場への販路開拓拡大を図るため、関東圏の集客力の高い展示会において「長野ものづくり技術展」を開催した。

展示会名	開催日	会場	出展者数(社・団体)	来場者数(人)	商談件数(件)	成立件数(件)	成立金額(千円)
テクニカルショウヨコハマ2025	令和7年 2月5日 ～7日	パシフィコ横浜	76	17,602	319 (会期中)	0 (会期中)	0 (会期中)

(イ) 成長が見込まれる医療機器分野への参入を促進するため、当該分野に関する素材・部品・製品や製造技術を P R できる展示会への出展を支援した。

成長市場分野展示会

展示会名	開催日	会場	出展者数(社・団体)	来場者数(人)	商談件数(件)	成立件数(件)	成立金額(千円)
Medtec Japan2025	令和6年 4月17日 ～19日	東京ビッグサイト	19	17,570	682 (会期後 9 か月)	43 (会期後 9 か月)	7,505 (会期後 9 か月)

エ 展示会や商談会後のフォローアップ調査等を行った。

(3) 生産財海外販路開拓支援事業 (マ)

実績	相談件数 376 件
	商談件数 552 件

ア 県内企業の海外への販路開拓や海外企業との技術連携等を促進するため、グローバル展開コーディネーター1名およびグローバル展開推進員2名を本部に配置し、ドイツ、ASEAN諸国で開催される展示会への出展支援やオンライン商談会への参加支援を実施した。

また、中国、ASEAN諸国等の現地日系企業等への技術提案商談会を実施した。

海外展示会

展示会名	分野	開催日	開催地	出展者数(社)	商談件数(件)	成立件数(件)	成立金額(千円)
Manufacturing Expo 2024	自動車・産業機械等	令和6年6月19日～22日	タイ(バンコク)	4	123 (会期後6か月)	7 (会期後6か月)	11,030 (会期後6か月)
Automechanika Frankfurt 2024	自動車・用品等	令和6年9月8日～16日	ドイツ(フランクフルト)	4	93 (会期後6か月)	0 (会期後6か月)	0 (会期後6か月)
Metalex Vietnam 2024	工作機械 金属加工等	令和6年10月2日～4日	ベトナム(ホーチミン)	6	88 (会期後6か月)	1 (会期後6か月)	220 (会期後6か月)
International Suppliers Fair (IZB) 2024	自動車部品等	令和6年10月20日～26日	ドイツ(ヴオルフスブルク)	4	87 (会期後6か月)	0 (会期後6か月)	0 (会期後6か月)
METALEX2024	工作機械 金属加工等	令和6年11月20日～23日	タイ(バンコク)	4	48 (会期後6か月)	3 (会期後6か月)	1,000 (会期後6か月)

国際版技術提案型商談会

企業名	開催日・開催方法	来場者(面談者)数	参加企業数(社)	商談件数(件)	成立件数(件)	成立金額(千円)
株島津製作所(中国・ASEAN)	令和6年7月2日(オンライン)	1	2	51 (6か月)	0 (6か月)	0 (6か月)
トヨタ紡織アジア(タイ)	令和7年3月5日(展示会)	385	17	60 (会期中)	0 (会期中)	0 (会期中)
株佐賀鉄工所(タイ)	令和7年3月6日(個別商談)	1	2	2 (会期中)	0 (会期中)	0 (会期中)

イ 海外展開の促進と商談会での提案力向上を支援するためのセミナーを対面及びオンラインにて開催するとともに商談会後のフォローアップ調査を行った。

グローバルマーケティングセミナー

開催日	会場	テーマ(内容)	参加人数
令和6年8月27日	塩尻総合文化センター及びオンライン	「牽引する欧州EV戦略と市場への参入を探る！」	59
令和7年2月14日	テクノプラザおかや及びオンライン	「トランプ新政権誕生！長野県企業に与える影響は？」	173

(4) ものづくり製品オンライン発信事業(マ)

今後さらに普及・定着が見込まれるオンラインによる事業活動を促し、県内ものづくり企業の販路開拓を支援するため、製品・技術の情報発信から発注企業とのマッチング支援まで一連で行うオンラインシステム(テクノリーチナガノ)を運用した。

- ・主な機能：24時間・365日商談、PR動画作成、英語対応、オンライン展示会開催等
 - ・稼働日：令和3年9月1日
 - ・県内受注登録企業数：311社 発注登録企業数：278社（令和7年3月31日現在）
- オンラインシステム（テクノロジーチナガノ）を活用した展示商談会や商談会を開催した。

ア 矢崎グループ（矢崎総業㈱、矢崎部品㈱）長野県新技術・新工法展示商談会

【展示商談会】（展示会：オンライン 個別商談会：対面またはオンライン）

開催日	発注企業	受注企業数 (社)	展示会来場者数(名)・ 商談件数 (件)	成約額 (千円)
令和7年2月10日～21日(展示会)、	矢崎グループ(静岡県)	19	124名	0千円 (会期中)
3月10日～14日(商談会)		19	19件 (会期中)	0千円 (会期中)

イ ビジネスマッチング商談会（対面またはオンライン）

開催日	発注企業	受注企業数 (社)	商談件数 (件)	成約額 (千円)
令和6年7月16日～26日	関東圏、中京圏、関西圏を中心に事業所を有する製造業者	60	718件 (会期後3か月)	2,744千円 (会期後3か月)
令和6年11月18日～11月29日	関東圏、中京圏、関西圏を中心に事業所を有する製造業者	14	155件 (会期中)	1,130千円 (会期後3か月)
令和7年2月25日～3月7日	関東圏、中京圏、関西圏を中心に事業所を有する製造業者	25	119件 (会期中)	0千円 (会期中)

3 消費財販路開拓支援

(1) 消費財マーケティング力強化事業（マ）

実績	相談件数 1,652件
	取引あっ旋紹介件数 151件

ア 食品製造事業者等の新商品開発や新たな市場への販路開拓・拡大を支援するため、県内（県庁、飯田、松本）に、販路開拓等に精通した「県産品コーディネーター」3名を配置し、地域資源の掘り起こし、食の「安心・安全」に関するアドバイス、商品化の支援、展示会や商談会の出展支援、商談会出展後のフォローアップ、国内外のバイヤーへの紹介等を行った。

イ 自社商品の販路開拓に意欲のある県内食品製造事業者の中から選定した重点支援事業者（6社）を対象に、県産品コーディネーターによる伴走支援のもと、専門家によるオンラインセミナー及び個別面談にて各社が抱える商品開発及び販路開拓の課題に対する助言指導を受けた後に、首都圏バイヤーから自社の商品評価を受ける展示求

評会を実施し、事業者ごとの課題に応じた商品開発から販路開拓まで、一貫して支援を行った。

重点支援事業者	個別面談	展示求評会 参加バイヤー数	商談件数
6社	1回	12社	72件

(2) 消費財国内販路開拓支援事業 (マ)

実績	商談件数 5,037件
----	-------------

ア 食品製造事業者等の販路開拓を支援するため、「県産品商談会」(長野・岡谷)及び「おいしい信州フード発掘商談会」(東京・長野・オンライン)を長野県との共催で開催した。

県産品商談会

商談会名	開催日	会場	出展者数 (社)	バイヤー数 (人)	商談件数 (件)	成立件数 (件)	成立金額 (千円)
県産品商談会 (展示商談形式)	令和6年 6月6日	シャトレー ゼホテル 長野 (長野市)	94	291	988 (会期後 6か月)	103 (会期後 6か月)	15,724 (会期後 6か月)
県産品商談会 (展示商談形式)	令和7年 1月23日	テクノプラ ザおかや (岡谷市)	49	111	326 (会期中)	2 (会期中)	2 (会期中)

おいしい信州フード発掘商談会 (対面式)

商談会名	開催日	会場	出展者数 (社)	バイヤー数 (人)	商談件数 (件)	成立件数 (件)	成立金額 (千円)
おいしい信州フード発掘商談会 in 東京	令和6年 8月28日	池袋 サンシャイン シティ (東京都)	95	507	1,360 (会期後 6か月)	117 (会期後 6か月)	21,845 (会期後 6か月)

おいしい信州フード発掘商談会 (対面式及びオンライン)

商談会名	開催日	会場	出展者数 (社)	バイヤー数 (人)	商談件数 (件)	成立件数 (件)	成立金額 (千円)
おいしい信州フード発掘商談会 (株野高商会 フレッシュプラザユニオン)	令和6年 7月10日	アークセン ター (長野市)	13	1 (4名)	13	10	7,523

おいしい信州フード発掘WEB商談会

開催日	実施回数	開催方式	バイヤー数(社)	参加企業数(社)	商談件数(件)	成立件数(件)	成立金額(千円)
令和6年 5月31日～ 令和7年 1月30日	全4回	対面及び オンライン	6	50	50	7 (会期後 3か月)	12,104 (会期後 3か月)

イ 食品製造事業者の全国規模での販路開拓に向け、専門展示会及び大手流通事業者が主催する商談会への出展支援を行った。

専門展示会

展示会名	開催日	会場	出展者数(社)	来場者数(人)	商談件数(件)	成立件数(件)	成立金額(千円)
第59回スーパーマーケット・トレードショー2025	令和7年 2月12日 ～14日	幕張メッセ (千葉県)	41	77,305	2,193 (会期中)	38 (会期中)	5,545 (会期中)

大手流通業者主催商談会

商談会名	開催日	会場	出展者数(社)	商談件数(件)	成立件数(件)	成立金額(千円)
三井物産流通グループ フードショー2024	令和6年 7月10日 ～11日	東京ビッグサイト(東京都)	5	45 (会期中)	5 (会期後 6か月)	343 (会期後 6か月)
三井物産流通グループ 関西メニュー提案会 2025	令和7年 2月20日	大阪マーチャン ダイズ・マート (大阪府)	4	62 (会期中)	0 (会期中)	0 (会期中)

(3) 消費財海外販路開拓支援事業(マ)

食品製造事業者のアジア等の有望市場への販路開拓を支援するため、長野県営業局と連携し次の事業を行った。

ア 食のグローバル展開推進員の配置

実績	相談件数 424件
----	-----------

食品製造事業者の海外への販路開拓を支援するため、食のグローバル展開推進員(2名)を県内(県庁)及び県外(東京・銀座NAGANO)に配置し、展示会等への出展支援やバイヤー等への紹介、出展後のフォローアップを行った。

イ 海外バイヤー招へい商談会の開催

実績	商談件数 70件
----	----------

食品の海外バイヤーを対象とした対面及びオンラインによる商談会を開催するとともに、国内に拠点を置く海外企業の国内駐在のバイヤーを長野県に招へいして商談会を開催した。

なお、長野県が物流等の分野で連携を進めている沖縄県が沖縄県内貿易商社と海外バイヤーを招へいしての対面およびオンラインによる商談会は沖縄県の都合により

中止となった。

名 称	開催日	開催方式	バイヤー数(社)	参加企業数(社)	商談件数(件)	成立件数(件)	成立金額(千円)
第1回 海外バイヤー 商談会	令和6年 4月23日～ 26日	対面	2	26	26 (会期中)	26	9,178
第2回 海外バイヤー 商談会	令和6年 8月28日	対面	5	10	10 (会期中)	4 (会期後 6か月)	997
第3回 海外バイヤー 商談会	令和6年 12月3日～ 4日	対面及 びオン ライン	6	34	34 (会期中)	32	24,852
「長野県産品× 沖縄国際物流ハ ブ」海外輸出オ ンライン商談会	※中止						

ウ 食品輸出専門展示会出展支援

実績	商談件数 31件
-----------	-----------------

食品輸出に特化した専門展示会へ長野県ブースを設置して県内企業への出展支援を行った。

展示会名	開催日	開催方式	出展者数(社)	バイヤー数(社)	商談件数(件)	成立件数(件)	成立金額(千円)
沖縄大交易会 2024	令和6年 8月1日 ～12月20日	オンライン	2	207	31 (会期後 3か月)	調査 予定	調査 予定
	令和6年11月 21日～22日	対面					

エ 長野フェアによる販売試行支援

実績	新規参加事業者 42社
-----------	--------------------

海外のスーパーマーケットが開催した長野フェアにおいて商品の取り扱いを希望する県内企業を募集し販売試行を支援した。

フェアの名称	開催日	開催地	参加企業数(社)
米国マルカイ長野フェア (マルカイハワイ及び ドン・キホーテUSA)	令和6年 5月22日～6月20日	アメリカ (ハワイ州)	30
米国マルカイ長野フェア マルカイ ロサンゼルス	令和6年 6月13日～7月10日	アメリカ (カリフォルニア州)	22
米国UWAJIMAYA 長野フェア	令和6年 10月16日～30日	アメリカ (ワシントン州及び オレゴン州)	26
裕毛屋 長野フェア	令和6年 12月13日～15日	台湾 (台中市)	23

オ 海外展示会への出展支援

実績	商談件数 235 件
----	------------

アジア諸国および米国の有望市場をターゲットとした海外で開催される食品の展示会へ長野県ブースを設置し、県内企業の出展を支援した。

展示会名	開催日	開催地	出展者数(社)	来場者数	商談件数(件)	成立件数(件)	成立金額(千円)
FOOD TAIPEI 2024	令和6年6月26日～29日	台湾(台北市)	5	47,336	120 (会期後6か月)	10 (会期後6か月)	1,535 (会期後6か月)
ニューヨーク共同貿易レストランエキスポ	令和6年9月21日	アメリカ(ニューヨーク市)	4	1,933	115 (会期中)	3 (会期中)	460 (会期中)

IV 企業再生支援

1 企業再生支援

実績	支援完了件数 65 件 相談件数 事前相談 118 件 、 1次相談 172 件
----	---

(1) 中小企業再生支援協議会事業(承)

ア 長野県中小企業再生支援協議会全体会議の開催

開催日	開催方式	参加者(人)	内容
令和6年6月18日	会議開催	40	令和5年度事業報告及び令和6年度事業計画について

イ 支援業務

中小企業からの事業再生に関する相談を受け付け、再生計画作成支援等を行った。

事前相談件数	118 件
1次対応件数	172 件
2次対応開始件数	38 件
収益力改善計画策定完了	12 件
プレ再生計画策定完了	8 件
再生計画策定完了 (うち抜本完了案件)	6 件 (3 件)
再チャレンジ支援完了	14 件
405 事業等移行案件	25 件
【合計】支援完了件数	65 件

再生計画の遂行状況を把握するためのモニタリングを行った。また、再チャレンジの意欲ある経営者に対しては、経営者保証ガイドラインを活用し、円滑な保証債務整理のための支援を行った。

モニタリング実施先数	98 先
経営者保証がトライン（単独型）での整理人数	1 人
経営者保証がトライン（一体型）での整理人数	5 人

ウ 広報・普及活動

金融機関及び関係機関等を適宜訪問し、業務遂行状況の報告及び運営上の課題等について意見交換を行ったほか、県内商工会議所が主催する相談会等に参加し、相談対応を行った。金融機関等で構成する信州中小企業支援ネットワーク会議において各種情宣を行った。

訪問・相談・会議	延べ回数
商工団体等	5 回
士業団体等	6 回
信州中小企業支援ネットワーク会議	2 回

(2) 経営改善計画策定支援事業（承）

ア 経営改善計画策定支援

財務上の問題を抱え、金融支援を含む経営改善を必要とする中小企業・小規模事業者が、経営改善計画策定において認定支援機関に依頼して作成する計画の策定費用および計画実行状況に対するモニタリング費用について一部を負担した。

利用申請件数	支払申請件数
68 件	64 件

イ 早期経営改善計画策定支援

資金繰管理や採算管理等の基本的な経営改善の取組を必要とする中小企業・小規模事業者が、早期段階で認定支援機関に依頼して作成する計画費用について一部負担した。

利用申請件数	支払申請件数
15 件	17 件

V 事業承継・引継ぎ支援

1 事業承継・引継ぎ支援

実績	第三者承継新規相談件数	202 件
	親族内承継新規相談件数	170 件
	第三者承継支援完了件数	50 件
	親族内承継支援完了件数	39 件

(1) 事業承継・引継ぎ支援センター事業（承）

中小企業等の円滑な事業承継・引継ぎ支援のため、事業承継診断による事業承継ニーズの掘り起しを実施。その中から、相談者の要望に基づいて、具体的な課題解決のため支援を行う伴走支援や、事業承継計画の策定支援、譲渡・譲受希望者に対するマッチングや助言等の各種支援を行った。

ア 事業承継に係る普及広報

地域の金融機関や商工団体等による事業承継支援ネットワークを構築し、事業承継

診断を実施することで、経営者が早期に事業承継の課題に気づく機会を提供した。また、気づきを行動に結び付けるためセミナーや研修会を実施した。

事業承継ネットワーク構成機関による事業承継診断実施件数	4,073 件
事業承継セミナー・講師等実施回数	計 19 回
支援機関向け事業承継研修会	24 回実施

イ 事業承継相談と具体的支援

親族内承継や第三者承継に対する相談に対して、専門家派遣やマッチングに向けた情報提供、各種助言などを支援。経営資源の次世代への円滑な事業承継・引継ぎや有効活用を図るため、相談者と面談による個別支援を行った。また、経営者の高齢化や後継者不足のピークを迎える最中であり、新たな自治体などにも広報活動や相談会開催の協力を働きかけるなど、支援の裾野を広げる活動をしている。様々な働きかけの効果もあり、新規の相談件数は2年連続で520件を上回った。また、個別支援に注力した結果、支援完了件数は、合計(第三者承継・親族内)89件となった。

後継者不在第三者承継 譲渡相談	202 件
後継者不在第三者承継 譲受相談	111 件
親族内承継相談・その他相談	209 件
新規相談 合計(上記)	522 件
第三者承継・親族内完了件数 合計	89 件

第4 地域センター事業

地域企業の相談窓口として、本部へのつなぎ連携機能を強化するとともに、地域の特徴や企業ニーズに即した課題解決に向けた諸事業を展開した。

I 長野センター

1 地域企業ニーズに基づく事業の推進

長野地域の企業ニーズを把握し、それに基づいた事業を展開する。地域企業における新分野進出や新技術開発など地域産業の新たな展開を支援するため、根強いニーズがある若手技術者を対象とした技術講座や研究会を継続して実施した。

(1) NICE 長野コラボネット (交)

地域企業の経営者、技術管理者、中堅技術者及び大学等関係者による交流会を開催し、企業間の技術交流や産学官交流を促進する。また、交流会活動を通じて具体的な研究開発プロジェクトを創設するなど、地域における共同技術開発を支援した。

開催期日	内 容	参加者
令和6年 4月10日	令和6年度役員会 令和5年度事業実施状況、令和6年度事業計画 等	8
令和6年 6月21日	第1回研究会 講演・会員発表 「共に学び、共に進む：工学との異文化交流から生まれる未来」 国立大学法人信州大学 工学部長 香山 瑞恵 氏 「シリコンウェハの加工技術について」 不二越機械工業(株) 開発部長 和田 昌樹 氏	33

開催期日	内 容	参加者
令和6年 9月3日	第2回研究会 講演・会員発表 「金属加工系中小企業の2030年を見据えた環境変化の予測と 技術開発～VUCAの時代を生き抜く先読みのリーダーシップ」 ㈱小松精機工作所 専務取締役 小松 隆史 氏	28
令和6年 11月26日	第3回研究会 水素エネルギー利用システム視察・ミニ講演会 視察先 「地球の恵みファーム・松本」 エア・ウォーター㈱ 資源循環モデル施設 「エア・ウォーターのグリーンエネルギーの取組紹介」 エア・ウォーター㈱ G I 事業部長 草場 俊 氏	28
令和7年 1月31日	第4回研究会 講演・会員発表 「パナソニックにおける燃料電池ならびに水素事業の取り組み」 パナソニック㈱ エレクトリックワークス社 水素・燃料電池戦略担当 加藤 玄道 氏 「浄水技術のイノベーション～SDGsと TNFD(自然関連財務情 報開示タスクフォース)への貢献を目指して～」 国立大学法人信州大学 特別荣誉教授 遠藤 守信 氏 「これが欲しかった！？エムケー精工のすきま商品」 エムケー精工㈱ 取締役 常務執行役員 ライフ&サポート事業本部長 早川 和弘 氏 「大変革期を現場視点で考察 モビリティ業界の最先端グロー バル動向」 アーデントコメッツ㈱ 代表取締役社長 高橋 正樹 氏	52

(2) 応用機械設計研修プログラム (人)

研究開発やその成果の早期事業化には、製造現場における技術者の高い設計品質能力が求められることから、長野高専と連携して講義と実習により実践的な設計技術の研修を開設し、技術者のスキルアップに資するとともに、将来に向けた研究開発人材の基盤づくりを行った。

開催期日	内 容	参加者
令和6年5月8日 ～令和6年6月10日	応用機械設計研修プログラム (計5回)	延べ113

(3) I o T 入門基礎研修プログラム (人)

地域企業の第一線で活躍する回路設計者のスキル向上を狙いとして、I o T を取り入れた生産活動への入門のための技術研修として、I o T に活用するセンサ計測技術及びアンテナの知識、Raspberry Pi の実用実践を基礎から学ぶ講座を開催した。

開催期日	内 容	参加者
令和7年1月24日 ～令和7年2月27日	I o T 入門基礎研修プログラム (計5回)	延べ18

(4) 新たな金属積層造形技術研究会（創）

金属加工分野で発展が目覚ましい金属積層造形技術について、地域企業の参入を目指した加工技術、材料技術、製品特性、実用化に向けた技術課題を調査研究する技術研究会を開催して、地域企業の技術力の向上、競争力強化と新分野進出を支援した。

開催期日	内 容	参加者
令和6年 8月2日	「粉末冶金による高機能・高性能金属材料の実用化」 兵庫県立大学 金属素材研究センター 特任教授・副センター長 柳谷 彰彦 氏 「金属AMに関する長野県工業技術総合センターの取り組み事例」 長野県工業技術総合センター 材料技術部門 金属材料部長 安澤 真一 氏 「新潟県工業技術総合研究所における金属堆積造形の取り組み」 新潟県工業技術総合研究所 研究開発センター 専門研究員 須藤 貴裕 氏	51

(5) 新技術探索研究会（創）

地域に密着し、ニッチな市場を想定した製品に向けた技術開発研究会を発足するために勉強会を開催し、具体的な製品や新しい技術開発の提案につなげた。

開催期日	内 容	参加者
令和6年 10月31日	第1回研究会 講演 「次世代冷媒の実用化に向けた熱交換技術」 国立大学法人東京海洋大学 准教授 池下 大輔 氏 「再生可能エネルギー利用のためのデータ取得システムの構築～地中熱源空調システムの一例～」 国立大学法人佐賀大学 准教授 仮屋 圭史 氏	57
令和7年 1月31日	第2回研究会 (NICE長野コラボネット 第4回例会と共催) 「パナソニックにおける燃料電池ならびに水素事業の取り組み」 パナソニック(株) エレクトリックワークス社 水素・燃料電池戦略担当 加藤 玄道 氏	52

2 県地域振興局、管内市町村の産業政策ニーズに基づく事業の推進

県・市町村等が取り組む産業政策に基づく事業を推進するため、行政、支援機関等と連携し、事業を展開した。

(1) 子供ものづくり科学教室（人）

子供の科学する心を醸成し、ものづくりへの興味を深めるため、行政、支援機関等と連携して「子供ものづくり科学教室」を開催した。

開催期日	内 容	参加者
令和6年9月6日	子供科学教室（埴生中学校）	115
令和6年10月31日	子供科学教室（埴生小学校）	196

3 顔が見える人的ネットワーク形成に資する事業の展開

地域企業のネットワーク形成と産学官・企業間交流を促進するため、経営者、中堅技術者及び大学等関係者の人的交流の場を提供した。

(1) 善光寺バレーミニ学会（交）

大学及び高専等と地域企業による共同研究の成果を発表する「善光寺バレーミニ学会」を長野高専と共同で開催し、関係者の交流を促進するとともに、研究開発・産学官連携に対する地域企業の意識を高めた。

開催期日	内 容	参加者
令和6年 11月1日	成果発表 信州大学（1名）、長野高専（1名）、地域企業等（2社） 講演「大規模言語モデルの評価における課題」 国立情報学研究所 コンテンツ科学研究系 菅原 朔 氏	40

(2) コーディネーター等連携推進事業（交）

産業活性化に向けた地域の支援機関の連携を推進するため、地域の産業支援機関のコーディネーター等の連絡情報共有会議を開催した。

訪問先：長野市ものづくり支援センター、長野商工会議所、須坂市産業連携開発課、
中野市商工観光課、長野県信用組合、長野信用金庫、長野県信用農業協同組合、
日本政策金融公庫、千曲市産業支援センター 9機関

4 共通基盤事業

地域企業における新分野進出や新技術開発など地域産業の新たな展開を支援し、企業の持つ課題の解決や産学官連携を推進するため、コーディネート活動等を実施した。

(1) 相談支援事業（相）

地域企業が抱える経営上の課題や研究開発に係る技術的課題等の相談に対応した。また、デジタル人材に関するニーズの掘り起こしや確保に向けた支援を行った。

相談実績	相談支援件数 260 件 うちデジタル人材関係 事業者訪問数 48 件 デジタルに関する相談件数 27 件
------	---

(2) コーディネート活動事業（創）

新分野進出や新技術開発などの新たな事業展開へのコーディネートを行った。

開催期日	内 容	
通年	活動実績	
	1 企業訪問等コーディネート活動件数	
	・相談件数	260 件
	・セミナー、研究会、展示会等参加	89 件
	2 産学・産々連携状況	
	・シーズ、ニーズ紹介	109 件
	・共同研究、実用化等支援	12 件
・事業化、製品化状況	0 件	
・提案公募型助成制度等提案支援状況	提案 0 件	
・サポイン事業フォローアップ	2 件	

II 上田センター

1 地域企業ニーズに基づく事業の推進

東信地域の企業ニーズを把握し、それに基づいた事業を展開した。承継事業の拡大や、新たなビジネスへの挑戦に取り組む若手経営者の課題を解決するために、若手経営者支援事業を強化した。また AI を利用する手掛かりを探している企業が多いため、AI を実際に活用できるようになるための支援を強化した。

(1) ビジネスチャレンジフォーラム（交）

若手経営者が集まり、それぞれが抱える経営課題の解決を目指して交流する場として「ビジネスチャレンジフォーラム」を開催した。

開催期日	内 容	参加者
4回共通	アドバイザー Design Lab.+Ca 代表 日本大学工学部建築学科 非常勤講師 鍋田 知宏 氏	
令和6年 6月14日	第1回フォーラム 交流会	14
令和6年 9月11日	第2回フォーラム 講演・交流会 講演 「今さら聞けない！ AI&ChatGPT 講座」 発見と創造 LABO 水寄 歩実 氏 交流会 コワーキングスペースえべや コミュニティマネージャー 臼井 美和 氏	16
令和6年 12月11日	第3回フォーラム 講演・交流会 講演 「～変革の意味を知る～ビジネスを次のステージへ導く ワークショップ」 (株)ワクフリ 代表取締役 高島 卓也 氏	21
令和7年 2月21日	第4回フォーラム 講演・交流会 講演 「共感を呼び、ビジネスを加速させるシナジーブランデ ィング 入門編」 C-OILING 合同会社 代表 大後 裕子 氏	13

(2) AI活用研究会（創）

地域企業におけるAI活用を促進するための人的交流の場を提供し、新たなシステム開発の芽を育成した。

開催期日	内 容	参加者
令和6年 7月19日	第1回研究会 グループ討議（画像処理グループ、データ処理 グループ） アドバイザー 信州大学繊維学部 化学・材料学科 教授 長田 光正 氏 長野県工科短期大学校 知能情報システム学科 教授 山崎 浩 氏 長野高専 工学科 情報エレクトロニクス系 准教授 力丸 彩奈 氏	21

開催期日	内 容	参加者
令和6年 9月3日	第2回研究会 話題提供、グループ討議 話題提供 「機械学習の素人が学術論文の掲載に至るまで-化学分野への 機械学習の利用-」 信州大学繊維学部 教授 長田 光正 氏 アドバイザー 信州大学繊維学部 化学・材料学科 教授 長田 光正 氏 長野県工科短期大学校 知能情報システム学科 教授 山崎 浩 氏 長野高専 工学科 情報エレクトロニクス系 准教授 力丸 彩奈 氏	21
令和6年 10月22日	第3回研究会 話題提供、グループ討議 話題提供 「人工知能の育て方 -学習データと人工知能の性格-」 長野県工科短期大学校 教授 山崎 浩 氏 アドバイザー 信州大学繊維学部 化学・材料学科 教授 長田 光正 氏 長野県工科短期大学校 知能情報システム学科 教授 山崎 浩 氏 長野高専 工学科 情報エレクトロニクス系 准教授 力丸 彩奈 氏	22
令和6年 12月4日	第4回研究会 話題提供、グループ討議 話題提供 「身の丈 DX ラボによる AI・IoT 活用支援について 宮城県産業技術総合センター 上席主任研究員（班長）太田 晋一 氏 アドバイザー 信州大学繊維学部 化学・材料学科 教授 長田 光正 氏 長野県工科短期大学校 知能情報システム学科 教授 山崎 浩 氏	15
令和7年 2月19日	第5回研究会 話題提供、グループ討議 話題提供 「人工知能の魅力と期待 -人との共通点・相違点-」 長野高専 工学科 情報エレクトロニクス系 准教授 力丸 彩奈 氏 アドバイザー 信州大学繊維学部 化学・材料学科 教授 長田 光正 氏 長野県工科短期大学校 知能情報システム学科 教授 山崎 浩 氏 長野高専 工学科 情報エレクトロニクス系 准教授 力丸 彩奈 氏	17

(3) 技術シーズマッチングフォーラム（創）

大学の技術シーズと企業ニーズを結びつけ、イノベーティブなビジネスを生み出すことを目的とする。そのために、技術シーズ発表会、企業説明会、企業見学会などを開催した。

開催期日	内 容	参加者
令和6年 12月12日	講演 1 「FPGA を活用したホログラフィ計算の高速化に関する研究」 長野高専 工学科情報エレクトロニクス系 助教 原 貴之 氏 講演 2 「木質材料を有効活用するための研究」 長野高専 工学科機械ロボティクス系 准教授 山岸 郷志 氏 講演 3 「ヒトのつまみ動作における把持戦略の研究」 長野高専 工学科情報エレクトロニクス系 准教授 富岡 雅弘 氏 講演 4 「簡単なようで難しい超音波異常診断へのアプローチ」 長野高専 工学科機械ロボティクス系 准教授 門脇 廉 氏	18

(4) 若手技術者養成講座（人）

機械加工法や制御 I o T に関する知識習得を図る講座を開催した。

ア 機械加工法コース

開催期日	内 容	参加者
令和6年6月18日～ 令和6年7月16日（5回）	講師 国立長野高専テクノセンター 副センター長 市川 敬夫 氏	133

イ I o T 初級コース

開催期日	内 容	参加者
令和6年9月19日～ 令和6年10月17日（5回）	講師 湯浅システム 湯浅 正樹 氏	77

(5) 感性応用計測研究会（創）

「使いやすさ」、「心地よさ」といった感性をものづくりに取り入れ、感性の数値化及び分析評価を行い、製品開発、デザイン、マーケティングに生かすための調査・研究を行った。

開催期日	内 容	参加者
令和7年 3月19日	第1回 研究会 今年度をもって終了するに至った経緯の報告 座長 信州大学繊維学部 先進繊維・感性工学科 教授 上條 正義 氏	15

(6) 幹部技術者交流フォーラム（交）

産学官共同研究開発に資する大学等の技術シーズを提供し、地域企業のネットワーク形成と産学官・企業間交流を促進するため、人的交流の場を提供した。

開催期日	内 容	参加者
令和6年 6月21日	第76回フォーラム 講演 「水だけを利用した農林水産資源の有効活用技術」 信州大学 繊維学部 化学・材料学科 教授 長田 光正 氏	16
令和6年 9月13日	第77回フォーラム 講演 「フードテックを和食に生かす ～機能性調味料はこう作る～」 長野県立大学 健康発達学部 食健康学科 准教授 小木曾 加奈 氏	11

開催期日	内 容	参加者
令和6年 10月2日	第78回会フォーラム 視察 シナノケンシ(株)様 本社工場見学	16
令和7年 2月12日	第79回フォーラム 講演 「機械系と情報系の融合研究と工学部の産学連携」 信州大学 学術研究院(工学系) 教授 千田 有一 氏	16

2 県地域振興局、管内市町村の産業政策ニーズに基づく事業の推進

長野県ゼロカーボン戦略の普及啓発するために、東信地域企業の先進的な取組を支援する。また、若い世代の技術的な興味を育むとともに、地域企業との協力を通じて開催されているロボコン大会や、地域で実施される産業活性化への取組を支援した。

(1) NICE 上田・ゼロカーボン研究会 (交)

地域企業の温室効果ガス排出削減方法についての情報交換、人的交流の場を提供した。

開催期日	内 容	参加者
令和6年6月13日	第1回研究会(AREC 脱炭素経営研究会 第8回例会) 講演「脱炭素社会を実現するための組織内/組織間連携」 信州大学人文学部 グリーン社会協創機構 地域カーボンニュートラル推進部門長准教授 茅野 恒秀 氏	37
令和6年8月8日	第2回研究会(AREC 脱炭素経営研究会 第9回例会) ・講演「エプソンの環境経営～人と地球を豊かに彩る～」 セイコーエプソン(株) 地球環境戦略推進 室長 木村 勝己 氏 ・講演「カーボンニュートラル実現に向けた省エネ技術」 信州大学 工学部建築学科 教授 高村 秀紀 氏 ・講演「中部電力パワーグリッド(株)の事業内容と脱炭素実現に向けた取り組みについて」 中部電力パワーグリッド(株)上田支社 地域統括室 室長 福永 竜己 氏	66
令和6年11月13日	第3回研究会(AREC 脱炭素経営研究会第10回例会) ・講演「2050ゼロカーボンの実現に向けた長野県の取組」 長野県 環境部環境政策課 企画経理係 担当係長 馬島 貴教 氏 ・講演「上田市の地球温暖化対策と脱炭素先行地域づくり事業について」 上田市 環境部 環境政策課 ゼロカーボンシティ推進担当主査 母袋 朗 氏 上田市 環境部 環境政策課 ゼロカーボンシティ推進担当主査 伊藤 雅啓 氏	47
令和7年3月21日	第4回研究会(AREC 脱炭素経営研究会第11回例会) ・ワークショップ これまでの活動の評価と今後の活動について ・講演会 「脱炭素の潮流、地域活動の意義、地域企業の役割」 信州大学繊維学部長 村上 泰 氏	32

(2) 子供科学技術教室 (人)

子供たちの科学離れが進む中で、将来の科学人材の育成に資するため、上田ロボコン、

望月・軽井沢ロボコン等の活動を支援した。

開催期日	内 容	参加者
令和6年10月19日、20日、11月2日	ロボコン望月教室	60
令和6年11月2日	上田ロボコン	146
令和7年2月16日、3月22日	ロボコン軽井沢教室	38

(3) 地域産業活性化支援事業（広）

産業活性化に向けて、地域で実施される共同研究開発活動やものづくり催事等に対し、効果的な事業推進が実施できるよう支援を行った。

開催期日	内 容	参加者
令和6年10月3日～10月6日	SAKUメッセ協賛	(全体7,500)
令和6年10月5日～10月6日	ぞっこん！さく市協賛	(全体55,000)
令和6年11月1日～11月2日	上田地域産業展協賛	(全体11,500)

3 顔が見える人的ネットワーク形成に資する事業の展開

企業支援のための情報を共有、また地域の支援機関の連携による限られた資源の有効利用により、総合的な支援体制を構築した。

(1) 支援機関連携強化事業（交）

支援機関を訪問し直接情報共有することにより、支援のネットワークを広げ、効果的な事業推進を支援した。

4 共通基盤事業

地域企業における新分野進出や新技術開発など地域産業の新たな展開を支援し、企業の持つ課題の解決や産学官連携を推進するため、コーディネート活動等を実施した。

(1) 相談支援事業（相）

地域企業が抱える経営上の課題や研究開発に係る技術的課題等の相談に対応する。また、デジタル人材に関するニーズの掘り起こしや確保に向けた支援を行った。

相談実績	相談支援件数 205 件 うちデジタル人材関係 事業者訪問数 19 件 デジタルに関する相談件数 8 件
------	--

(2) コーディネート活動事業（創）

新分野進出や新技術開発などの新たな事業展開へのコーディネートを行った。

開催期日	内 容
通年	活動実績 1 企業訪問等コーディネート活動件数 ・相談件数 205 件 ・セミナー、研究会、展示会等参加 164 件 2 産学・産々連携状況 ・シーズ、ニーズ紹介 2 件 ・共同研究、実用化等支援 3 件 ・事業化、製品化状況 0 件 ・提案公募型助成制度等提案支援状況 提案 2 件（うち採択 0 件）

(3) マーケティング活動事業（マ）

受発注取引に関する相談、あつ旋、各種商談会・展示会等への出展やマッチング等のサポートを行った。

時期	内 容	参加者
通年	企業訪問件 (内新規)	210 社 70 社

(4) 共同研究等推進事業（共）

提案公募型研究開発プロジェクト導入支援や運営、フォローアップを行った。

時期	内 容	参加者
通年	サポインフォローアップ数	3 件

(5) NICE イノベーションセミナー（創）（長野センターと共同実施）

開催期日	内 容	参加者
令和6年12月3日	第2回 NICE イノベーションセミナー ～デジタル技術で観光業者と旅行者に魅力的な観光地を～ 観光×DXセミナー 会場：上田東急 REI ホテル	87

III 松本センター

1 地域企業ニーズに基づく事業の推進

地域企業の経営者等が、個々に抱える資金・社員教育・改善の進め方などの経営課題を、具体的に解決する方法を見出す場づくり、新製品・新商品の開発を進めたいというニーズを持つ地域企業を大学との連携により支援した。

(1) アルプスビジネススクール事業（創）

生産性の向上、技術・製品の付加価値向上、経営改善、IT化等を目指すため、経営に関して知見のあるファシリテーターのもと、地域企業が会員となり、会員相互の事例研究を行った。

開催期日	内 容
令和6年 5月16日	I期（令和5年度）スクール 第8回 全体評価会
令和6年 7月24日	II期（令和6年度）スクール 第1回 キックオフ、基調講演
8月27日	第2回 事例研究1 ㈱アルタス【安曇野市】
9月24日	第3回 事例研究2 小林興業㈱【安曇野市】
11月12日	第4回 事例研究3 ㈱荻窪金型製作所【北安曇郡池田町】
12月17日	第5回 事例研究4 ㈱一之瀬製作所【松本市】
令和7年 1月21日	第6回 事例研究5 ㈱サーキットデザイン【安曇野市】

(2) 産学連携による新製品・新商品開発支援事業（創）

長野大学企業情報学部森俊也教授の企業イノベーションプロジェクトの活動に、新製品

開発や新規事業展開に意欲的に取り組む本郷鶏肉(有)【松本市】を紹介し、企業の取り組みを理解した森ゼミの学生から、新しいコンセプトや新しい商品の提案が出された。

開催期日	内 容
令和6年 5月6日 6月10日 10月7日 令和7年 2月3日	キックオフ 中間報告会 企業ミーティング 最終報告会
令和7年 2月3日	長野大学と次年度対象企業との打合せ

2 県地域振興局、管内市町村の産業政策に基づく事業の推進

松本地域振興局商工観光課、市町村、商工会・商工会議所、松本市の松本ものづくり産業支援センター、塩尻市振興公社、安曇野工業会など、それぞれの地域や支援機関等の課題にあわせた事業を実施し、支援機関等と連携して地域内企業の支援を進めた。

(1) デザイン思考パワーアップ講座事業（人）

ユーザー視点に立ったデザイン思考の課題解決やアイデアの探索を行うデザイン思考の考え方を学び、ワークショップを通じて最終的な製品に反映させる手法を習得した。

開催期日	内 容	参加者
令和6年 6月19日 7月19日 8月2日	「デザイン思考」を学ぶためのセミナー・ワークショップ 講師 (株)U-NEXUS 代表取締役 上野 敏良 氏 無償セミナー（1日） 有償ワークショップ（2日）	33 延べ 26

(2) 中信自動化推進支援事業（産）

地域内中小企業の自動化を推進するとともに、Sier企業の支援を行うため地域において先進的に自動化が進んでいる企業の視察や自動化に関する講座を開催した。（松本ものづくり産業支援センター、塩尻市振興公社と連携し、実施。）

開催期日	内 容	参加者
令和6年 4月22日～ 7月17日 7月 16・17日 22～24日 11月20日 12月3日	中信地域自動化推進ネットワーク会議 11回開催 (株)協和精工【下伊那郡高森町】事例研究会 自動化技術者育成事業 ・リレーシーケンスの基礎 ・シーケンサ（PLC）の基礎 協働ロボット 講演会・デモ 三明機工【静岡市】視察会	23 延べ 16 延べ 24 34 19

(3) 故障・不具合の未然防止技術の実務教育講座事業（人）

企業における設計・開発力向上を目指すため、故障・不具合の未然防止技術について、知識の習得や体験型の講座を開催した。

開催期日	内 容	参加者
令和6年 9月 12・19日	工程FMEA講座（2日コース） 講師 ラーチマネージメントリサーチ 代表 村岡 正一 氏	延べ32

(4) 地域企業人材挑戦力育成事業（人）

地元大手企業で取り組まれている社内研修の内容を、地域の工業会等と連携し、地域企業へ普及させ人材の育成を図る研修会を実施した。

開催期日	内 容	参加者
令和6年 9月25日	「品質管理基礎研修会」（半日コース） 座学 QC的なモノの見方・考え方、データの取り方・まとめ方、QC7つ道具 演習 机上にて「ある作成物」を計測→評価→改善→再計測&評価 講師 セイコーエプソン(株) CS品質企画推進部 高田圭シニアスタッフ、久保田英二スタッフ	21

(5) ものづくりワークショップ事業（人）

小学生等を対象に、ものづくりと科学技術に対する関心を高めるため、松本地域振興局商工観光課と連携し、地域のものづくりワークショップを開催した。

開催期日	内 容	参加者
令和6年 7月26日	「夏休みおもしろ技術と子どものふれあい教室」	(42組) 93

3 顔が見える人的ネットワーク形成に資する事業

(1) 連携交流事業（創）

大学・高専・企業との産学官連携交流事業を、本部と連携し共同実施した。

開催期日	内 容	参加者
令和6年 10月24日	「産学官連携交流会 in 松本 2024」 開催場所：Mウイング（松本市） 参加方法：会場66人 オンライン35人 講演者：7名、パネル展示と名刺交換会を実施 【シーズ講演と企業等の取組紹介】 [シーズ講演] ○信州大学農学部 教授 竹田 謙一 氏 ○公立諏訪東京理科大学工学部 情報応用工学科 准教授 菊地 輝行 氏 ○信州大学繊維学部 准教授 梅舘 拓也 氏 ○長野工業高等専門学校機械ロボティクス系 教授 網谷 健児 氏	101

(3)NICE イノベーションセミナー（創）（企画連携部と共同実施）

開催期日	内 容
令和7年 2月7日	第3回 NICE イノベーションセミナー 「2050年カーボンニュートラルに向けた次世代型太陽電池の開発について」 開催場所：core 塩尻 参加者数：104人（会場32人、オンライン72人）

IV 諏訪センター

1 地域企業ニーズに基づく事業の推進

地域企業の経営基盤を強化するため、特に技術系人材の高度専門化と技術優位性の強化を図った。専門性が高いレベルで産学官交流、産々連携が促進される研究開発事業を行った。

(1) DTF 研究開発事業（創）

DTF (Desk Top Factory)に関する最新情報を収集し、幅広いネットワークの構築を目指して講演会、視察等を行った。また、スマートファクトリー分科会と医療分科会により具体的な研究開発を進めた。

開催期日	内 容	参加者
令和6年 5月16日	第147回研究会・定期総会・講演 「防衛産業の現状と取組」 防衛装備庁 装備政策部 装備政策課 課長 伊藤 和己 氏	32
令和6年 7月24日	第148回研究会 見学 （株）永田製作所（岡谷市）	19
令和6年 9月24日	第149回研究会 「デスクトップファクトリーの普及を加速させるセンシング研究 ～工作機械の発する音色を聴き分ける AE センシング～」 埼玉工業大学 准教授 長谷 亜蘭 氏	23
令和6年 10月16日	DTF 国際ワークショップ 2024 in 諏訪（2(1)に掲載） メキシコ、ブラジル、インドの最新情報	(44)
令和7年 1月23日	第150回研究会 「R6年度補正予算・R7年度当初予算 中堅・中小企業向け支援施策説明会」 関東経済産業局 地域振興課 係長 水品 真菜実 氏 「世界経済の動向と長野県経済の見通し__トランプ 2.0 と向き合う__」 （一財）長野経済研究所 主任研究員 飯田 馨 氏	22
令和7年 3月14日	第151回研究会 「グリーン水素における開発動向と学術研究の展開」 東京大学 先端科学技術研究センター 特任准教授 熊谷 啓 氏	25
通年	幹事会 10回開催 スマートファクトリー分科会 4回開催 医療分科会 12回開催	延べ 84 延べ 36 延べ 75

(2) 材料研究開発事業（材料研究会）（創）

材料技術の開発動向や機能利用展開に関する講演会を開催した。また微細粒鋼やアモルファス合金にターゲットを絞り実用化研究を行った。

開催期日	内 容	参加者
令和6年 9月10日	第1回研究会 「“ナノ(Nano)”の世界を“照らす(Terasu)” 次世代放射光施設ナノテラス」 -イノベーションのルールを変える,放射光分析の活用戦略- 東北大学国際放射光イノベーション・スマート研究センター 教授 高田 昌樹 氏	27
令和6年 11月29日	第2回研究会 「会員相互の情報共有」 「実験・解析についてディスカッション」	16
令和7年 1月15日	第3回研究会 「超伝導線材の開発とその応用に関する最近の話題」 物質・材料研究機構 先進超伝導線材グループ グループリーダー 菊池 章弘 氏	27
令和7年 3月7日	第4回研究会 「プレス金型向け PVD コーティングと事例紹介」 エリコンジャパン(株) ツール営業部 プロダクトマネージャー 大崎 隆史 氏 「切削工具向け PVD コーティングと事例紹介」 エリコンジャパン(株) ツール営業部 キアカウントマネージャー 井上 雄介 氏	15
通年	超微細粒鋼とコバルトクロム合金について実用化研究	

(3) 幾何公差実践研究会（人）

高付加価値で国際競争力のあるものづくりに寄与できるリーダーの育成を目指し、国際的に通用する設計や図面の理解・習得を図る講座を実施した。

開催期日	内 容	参加者
令和6年 6月7日 ～9月13日 (全12回)	第1回 製図初心者講座1 第2回 製図初心者講座2 第3回 幾何公差方式に関する基本事項講座1 第4回 幾何公差方式に関する基本事項講座2 第5回 形状公差講座1 第6回 姿勢公差 グループ演習1 第7回 位置公差・振れ公差講座 第8回 幾何公差の有効な活用方法 グループ演習2 第9回 3次元測定器を用いた幾何公差測定の実演・実図面によるグループ討議1 第10回 実図面によるグループ討議2 第11回 実図面によるグループ討議3 第12回 実図面によるグループ討議4	延べ215

(4) 新商品開発・製品サービス研究会（人）

顧客が感動する商品やサービスを効果的に企画・開発推進できる人材の育成を目指してセミナーと個別の事例研究を行った。

開催期日	内 容	参加者
令和6年 7月3日	講師：ラーチマネージメントリサーチ 村岡 正一 氏 第1回：ニーズを踏まえた新商品開発の進め方 ・新商品開発のポイント ・マーケティング	14
令和6年 7月10日	第2回：開発企画の進め方 ・サービス工学 ・品質機能展開 ・新事業創出に向けて	13
令和6年 7月17日	第3回：新商品開発ワークショップ（市場要求品質の整理） ・ワークショップⅠ：言語データの整理と展開	12
令和6年 7月24日	第4回：技術開発への展開 ・技術アイデアの策定 ・故障予防（FMEA、FTA）	13
	令和6年8月19日～令和7年1月14日 個別事例研究 5回	

2 県地域振興局、管内市町村等の産業政策ニーズに基づく事業

安心・安全に暮らせて活力のある地域社会を形成するために、自然環境から産業構成、文化的特性などを相互連携させた特色ある活性化構想を県・市町村が策定しており、これに呼応する事業を展開した。

(1) 諏訪圏工業メッセ 2024 事業（交）

海外ネットワークの構築と最新技術の動向を把握するため、諏訪圏工業メッセの会期に合わせてDTF国際ワークショップを開催した。

開催期日	内 容	参加者
令和6年 10月16日	DTF国際ワークショップ2024 in 諏訪を開催 講演1「知らされる中南米の大国、メキシコ、ブラジルの今を探る -注目を集めるグローバルサウスの国々-」 (独)日本貿易振興機構(JETRO) 調査部 小西 健友 氏 JETRO 長野貿易情報センター諏訪支所長 荒井 慎哉 氏 講演2「中小企業海外展開支援施策の紹介」 関東経済産業局 国際課 安藤 菜那 氏 講演3「やはり最後は、人と人とのつながり」 まずは、「相手を信じて」と決めて挑んだインド進出 (株)協和精工 代表取締役社長 橋場 浩之 氏	44
令和6年 10月17日 ～19日	諏訪圏工業メッセ開催 340社・団体出展	

(2) 環境・エネルギー技術研究開発事業（創）

諏訪地域の環境特性を活かした再生可能エネルギーの探索し、安全・安心なまちづくりにつながる技術開発目指して事業を実施した。

開催期日	内 容	参加者
令和6年 10月3日	第1回環境エネルギー研究会 「スマートエネルギーWeek 2024 秋展」視察・見学	10

開催期日	内 容	参加者
令和7年 2月18日	第2回環境エネルギー研究会 講演「全固体電池の現状と今後の課題」 東京科学大学 全固体電池研究センター 特任教授 池松 正樹 氏	59

(3) 子ども電子工作・プログラミング教室（人）

子供工作教室運営委員会メンバーの協力を得て、2回に分けて、諏訪6市町村の小学5・6年生の親子ペア10組を対象に実施。

開催期日	内 容	参加者
令和7年 1月19日	第1回工作教室（岡谷会場） 当日1組の欠席あるも、参加者全員完成・完動	25
令和7年 1月26日	第2回工作教室（諏訪会場） 参加者全員完成・完動	27

3 顔が見える人的ネットワーク形成に資する事業

産学官連携、企業間連携の基盤となる人と人とのつながりを形成するため、企業の技術者及び支援機関の交流を促進した。

(1) 品質工学研究会（人）

ロスの少ない工程設計、技術開発、設計のできる人材の育成を目指し、地域企業における品質工学の考え方、各手法の普及・促進を行った。

開催期日	内 容	参加者
令和6年 6月18日	品質工学導入講習会 ・パラメータ設計の基本的な考え方 ・MTシステムの基本的な考え方 ・オンライン品質工学の概要 講師 (有)増田技術事務所 代表取締役 増田 雪也氏 東京エレクトロンTS(株) 中山 博之氏 長野県品質工学研究会 顧問 岩下 幸廣氏	16
令和6年 9月9日 9月10日	品質工学パラメータ設計基礎セミナー ・品質工学の考え方 ・パラメータ設計の基礎、計算方法 ・紙飛行機による実習 ・最適化条件の抽出と再現性確認 講師 KOA(株) マイスター 守谷 敏氏	14
令和6年 11月19日 11月20日	ものづくりにおけるデータ分析基礎セミナー ・ものづくりでのデータの扱い ・データ分析の基礎 ・回帰分析の考え方 ・T法の考え方 ・判別法の考え方 (MT法の活用) 講師 長野県品質工学研究会 顧問 岩下 幸廣氏	28
令和7年 2月14日	品質工学実践交流大会 事例発表3件 シナノケンシ(株) 辻 希望氏 日精樹脂工業(株) 新井 啓太氏 (有)増田技術事務所 増田 雪也氏 特別講演「MTシステムによるリアルタイム診断事例紹介と ヤマハ発動機における品質工学の取組み」 ヤマハ発動機(株) パワートレインユニットプロダクト開発統括部 熊谷 賢一氏	37
通年	定例研究会11回開催	111

(2) 諏訪圏アドバイザー・コーディネーター連携事業（交）

地域の産業支援機関に所属するコーディネーター・アドバイザー等の除法共有を図るため、連絡会議を開催した。

開催期日	内 容	参加者
令和6年 9月26日	第1回連絡会議 ・諏訪圏工業メッセ2024開催内容について ・情報交換	26
令和7年 2月28日	第2回連絡会議 ・経済産業省支援施策等について ・R6年度の事業総括とR7年度の主要事業について ・長野県産業労働部のR7年度支援施策について ・情報交換	31

4 共通基盤事業（コーディネート活動等）

(1) 相談支援事業（相）

地域企業が抱える経営上の課題や研究開発に係る技術的課題等の相談に対応した。またデジタル人材に関するニーズの掘り起こしや確保に向けた支援を行った。

相談実績	相談支援件数 133 件 うちデジタル人材関係 事業者訪問数 25 件 デジタルに関する相談件数 15 件
------	---

(2) コーディネート活動事業（創）

新分野進出や新技術開発などの新たな事業展開へのコーディネートを行った。

開催期日	内 容
通年	活動実績 1 企業訪問等コーディネート活動件数 ・相談件数 133 件 ・セミナー、研究会、展示会等参加 98 件 2 産学・産々連携状況 ・シーズ、ニーズ紹介 24 件 ・共同研究、実用化等支援 7 件 ・事業化、製品化状況 1 件 ・提案公募型助成制度等提案支援状況 提案 2 件（うち採択 2 件）

(3) マーケティング活動事業（マ）

受発注取引に関する相談、あつ旋、各種商談会・展示会等への出展やマッチング等のサポートを行った。

(4) 共同研究等推進事業（共）

提案公募型等研究開発プロジェクト導入支援や運営、フォローアップを行った。

V 伊那センター

1 地域企業ニーズに基づく事業の推進

地域企業ニーズを把握し、それに基づいた事業を展開した。特に企業が地域と連携して脱炭素・循環型社会の形成に向けて取り組むことへの支援や、新製品・新技術の開発、効率化と人材育成など、中小企業の競争力向上と経営基盤強化を支援した。

(1) リサイクルシステム研究会（人）

エネルギーの有効利用と地産地消、リサイクルや脱プラなどの取り組みを通して、産業界から地域における脱炭素・循環型社会の構築を目指す活動を支援した。新たに産官が連携して立ち上げた上伊那ゼロカーボン・プラットフォーム（KZCP）への企画・運営にも協力した。

開催期日	内 容	参加者
令和6年4月19日	定例会（第1回）	18
令和6年5月18日	第28回天竜川水系環境ピクニック	3,318
令和6年6月5日	上伊那ゼロカーボン・プラットフォーム第1回定例会 テーマ「上伊那ゼロカーボン・カフェ」	46
令和6年6月	身近な水環境の全国一斉調査(6/1～6/20)	7
令和6年6月27日 ～6月28日	省エネ、創エネ最先端施設 視察・見学会 ① 三菱電機 情報技術総合研究（ZEB 実証棟） ② リコー環境事業開発センター（リサイクル等）	10
令和6年7月19日	定例会（第2回）	17
令和6年7～8月	親子で水質調査実施	24
令和6年9月18日	上伊那ゼロカーボン・プラットフォーム第2回定例会 テーマ「エネルギー対策セミナー」	53
令和6年10月24日	定例会（第3回） タカノ(株) 伊那工場 工場見学	13
令和6年11月23日 ～11月24日	南信州環境メッセ2024 出展	69
令和6年12月6日	上伊那ゼロカーボン・プラットフォーム第3回定例会 ①エア・ウォーター「大地の恵み 松本」見学 ②シグナス水力発電研究所「高瀬川3号発電所」見学	20
令和7年2月14日	定例会（第4回）	16
令和7年2月18日	上伊那ゼロカーボン・プラットフォーム第4回定例会 テーマ「太陽光発電のススメ」	38

(2) 次世代経営者による異業種交流会（交）

講演会や企業見学等を通じて、地域企業の競争力を強化する支援を行った。また地域企業の経営者による交流を促進し、異業種での新分野による連携プロジェクトを構築することで、地域産業の活性化や次世代産業の創出を支援した。

開催期日	内 容	参加者
令和6年4月24日	令和6年度通常総会	24
令和6年8月28日	定例会（第1回） 長野工業振興会との交流会・工場見学 トーハツマリーン(株)、(有)スワニー	44
令和6年11月13日	定例会（第2回）講演会・工場見学 「ロボットと作る未来 ～ロボット政策の方向性～」	33

開催期日	内 容	参加者
	経済産業省 製造産業局産業機械課 ロボット政策室 室長 石曾根 智昭 氏 タカノ(株)本社工場(宮田村) 見学	
令和6年11月28日 ～12月1日	海外視察研修(タイ王国)	10
令和7年2月5日 ～2月7日	テクニカルショウヨコハマ2025 共同ブースで出展 4社参加	4
令和7年2月26日	定例会(第3回) 講演会 「視点を変えて採用を考える ～今の時代のアスリート採用について～」 (株)PLAYMAKER 代表取締役 三橋 亮太 氏 「“やればできる活用法” ～障がい者就労継続支援事業とは～」 特定非営利活動法人やればできる 理事長 小松 みどり 氏	27
令和7年3月24日	役員会	13

(3) 伊那バレー・オープンイノベーション事業(創)

地域企業の固有技術やノウハウの連携を促進し、地域産業の活性化を図るための事業を行った。参加企業の共通的な課題に対し共同で解決に取り組むことで、互いに競争力を高める活動を行った。

開催期日	内 容	参加者
令和6年4月16日	開発プロセス効率化分科会④	9
令和6年5月10日	生産性向上(直接)分科会⑤	6
令和6年5月14日	生産性向上(間接)分科会⑤	5
令和6年5月22日	人材育成・技能伝承分科会⑤	7
令和6年5月27日	第37回 定例会	10
令和6年7月24日	生産性向上(間接)分科会⑥	6
令和6年8月21日	生産性向上(直接)分科会⑥	7
令和6年8月27日	第38回 定例会	10
令和6年9月17日	開発プロセス効率化分科会⑤	15
令和6年11月12日	第39回 定例会	11
令和6年12月3日	生産性向上(直接)分科会⑦	9
令和7年1月17日	開発プロセス効率化分科会⑥	9
令和7年2月10日	第40回 定例会	10
令和7年2月25日	生産性向上(直接)分科会⑧	9

(4) 製造力強化活動支援事業(人)

省人化、品質向上、コスト低減等に関する講座の開催や生産性向上に先進的に取り組んでいる企業の視察等を実施した。

開催期日	内 容	参加者
令和6年6月26日	IE講座(工程改善セミナー:導入編) E&E Solutions 代表 相吉 一浩 氏	54
令和6年8月30日 9月6日	IE講座(工程改善セミナー:実践編) E&E Solutions 代表 相吉 一浩 氏	延べ36
令和6年10月4日 10月11日	IE講座(工程改善セミナー:活用編) E&E Solutions 代表 相吉 一浩 氏	延べ40

開催期日	内 容	参加者
令和6年11月22日	先進企業見学会 訪問先：セイコーエプソン(株)豊科・富士見事業所	32

(5) スマート看護・福祉研究会（創）

リハビリテーション機関や、看護大学、企業等が連携して、新たなリハビリテーション機器等を開発し、ADL（日常生活動作）支援のための器具等の供給ビジネスを、地域産業として創出する研究会活動を行った。

開催期日	内 容	参加者
令和7年2月6日	第57回定例会 小児歩行用下肢装具の開発検討	7

2 県地域振興局、管内市町村の産業政策ニーズに基づく事業の推進

県・市町村等が取り組む産業政策に基づく事業や、地域課題の解決のための事業を推進するため、県・市町村や大学、支援機関等と連携して事業を展開した。

(1) 伊那谷アグリイノベーション事業（交）

産学官で構成する伊那谷アグリイノベーション推進機構と連携し、信州大学農学部 of 技術シーズを活用した新産業を創出することで、地域産業の活性化を支援した。

開催期日	内 容	参加者
令和6年5月31日	令和6年度総会	44
令和6年8月7日	第21回シンポジウム 「ランドスケープ：地域の景観と農林業」（共催） 基調講演「農家が国土の庭師と呼ばれるイギリスに学ぶこと 環境保全型スモールツーリズム」 信州大学農学部 准教授 渡邊 修 氏 他1講演、パネルディスカッション	65
令和6年8月7日	第8回 薬草・薬木勉強会	23
令和6年11月21日	令和6年度 体験講座	17
令和6年12月17日	研究助成成果発表および各種勉強会活動報告会	24
令和7年3月7日	第8回 菌類勉強会	24

(2) 子ども科学工作教室（人）

地域の子ども達に「科学技術」や「ものづくり」への関心を高めてもらい、将来の地域産業を担う人材を育成する活動を行った。

地区	名称	開催期日	内 容	会場	参加者
下伊那地区	令和6年度子ども科学工作教室	令和6年9月7日 11月9日	プログラミングロボ、スペースロボ、天体望遠鏡、燃料電池4WDカー	エス・バード(飯田市)	86
上伊那地区	第24回上伊那子ども科学工作教室	令和7年2月1日	フォロ 初音ミクエディション「赤外線センサー搭載！【なかよしモード】【たんけんモード】を使って遊ぼう」	伊那市防災コミュニティセンター	143

(3) 地域産業活性化支援事業（人）

地域の課題解決や人材育成に関わる活動へ参画し、産学官連携により地域の産業振興

や将来の地域人材の育成等に取り組んだ。

ア 郷土愛プロジェクト全体会議および委員会（全4回）

イ 伊那市新産業技術推進協議会（全5回）

ウ 伊那市商工業振興審議会（全1回）

3 顔が見える人的ネットワーク形成に資する事業の展開

産学官連携や企業連携の基盤となる人的ネットワークづくりのための交流を促進し、地域の企業支援のための情報を共有・連携することで、より有効な支援体制を構築する活動を行った。

(1) 伊那谷バレーネットワーク構築事業（交）

地域の産業支援機関や商工団体・行政が顔の見えるネットワークを構築し、企業支援における連携を強化するための情報交換会などを実施した。

開催期日	内 容	参加者
令和6年4月17日	上伊那地域コーディネーター情報交換会（第5回）	17
令和6年5月23日	南信州産業支援連携会議	7
令和6年7月17日	上伊那地域コーディネーター情報交換会（第6回）	19
令和6年10月23日	上伊那地域コーディネーター情報交換会（第7回）	13
令和7年1月15日	上伊那地域コーディネーター情報交換会（第8回）	15

4 共通基盤事業

地域企業における新分野進出や新技術開発など地域産業の新たな展開を支援し、企業の持つ課題の解決や産学官連携を推進するため、コーディネート活動を実施した。

(1) 相談支援事業（相）

地域企業が抱える経営上の課題や研究開発に係る技術的課題等の相談に対応した。また、デジタル人材に関するニーズの掘り起こしや確保に向けた支援を行った。

相談実績	相談支援件数 182 件 うちデジタル人材関係 事業者訪問数 58 件 デジタルに関する相談件数 36 件
------	---

(2) コーディネート活動（創）

地域企業における新分野進出や新技術開発などの新たな事業展開をコーディネート活動により支援した。

開催期日	内 容
通年	活動実績 1 企業訪問等コーディネート活動件数 ・相談件数 182 件 ・セミナー、研究会、展示会等参加 141 件 2 産学・産々連携状況 ・シーズ、ニーズ紹介 1 件 ・共同研究、実用化等支援 2 件 ・事業化、製品化状況 0 件 ・提案公募型助成制度等提案支援状況 提案 2 件（うち採択 1 件）

(3) マーケティング支援事業（マ）

受発注取引に関する相談、あっ旋、各種商談会・展示会等への出展支援やマッチング等のサポートを行った。

(4) 共同研究等推進（共）

提案公募型等研究開発プロジェクト導入支援やフォローアップを行った。

提案公募型等研究開発プロジェクト導入支援事業（2事業）

提案公募型等研究開発プロジェクト運営事業

提案公募型等研究開発プロジェクトフォローアップ事業（9事業）

(5) NICE イノベーションセミナー（創）（諏訪センターと共同実施）

開催期日	内 容	参加者
令和6年11月1日	第1回 NICE イノベーションセミナー 「BEVシフト見直しによる世界の自動車産業の最新動向」 --課題からみた持続可能なモビリティ社会の姿-- (一社)日本自動車部品工業会 技術担当顧問 株SOKEN エグゼクティブフェロー 古野 志健男 氏	128

事業報告の附属明細書

1 基本財産の再運用

(1) 満期償還金等の再運用先

種類・銘柄等	額面金額 (取得価額)	利率	取得日等	償還日
岩手県令和6年度第1 回公募公債(グリーン/ ブルーボンド)(5年)※	10,000 千円	0.628%	R6.7.25	R11.7.25

※R5年度に満期償還となった第333回利付国債(10年)の償還金の一部(10,000千円)を、再投資用資金として普通預金で保管していた基本財産から充当

2 基本財産の運用状況等

3 役員・評議員等の異動状況

} 「令和6年度事業等の概要」のとおり